

北陸新幹線開業に向けて

上越市新幹線まちづくり行動計画

～みんなが取り組む行動計画～



平成23年2月
上越市



箕冠城跡(上越市板倉区)から望む



上越駅(仮称)のデザイン「桜と雪の平原」(東口)



もてなしと交流のエントランス(東側)



光のテラス(西側)

も

く

じ

概要

- 新幹線まちづくり行動計画体系図 概要—1
- 新幹線まちづくりの背景 概要—2
- 全国に向けて発信したい上越市の魅力 概要—3

第1章 はじめに

- 1 上越市新幹線まちづくり行動計画とは 1-1
- 2 北陸新幹線の概要 1-4
- 3 新幹線開業が上越市に与えるインパクト 1-7
- 4 新幹線開業がもたらすチャンス 1-9
- 5 全国に向けて発信したい上越市の魅力 1-11

第2章 新幹線まちづくりの基本的方向

- 1 新幹線開業のチャンスと上越市の魅力をいかしたまちづくり 2-1
- 2 基本的方向 2-2

第3章 新幹線まちづくりの取組方策

- 1 取組方策の体系 3-1
- 2 取組方策 3-3
 - A おもてなし空間とゲートウェイ機能の充実 3-A-1
 - B 上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり 3-B-1
 - C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実 3-C-1
 - D 上越市の食・ものづくりの力をいかした産業の活性化 3-D-1
 - E 多様なライフスタイルが可能な上越暮らしの促進 3-E-1
 - F 高速交通基盤をいかした拠点性の強化 3-F-1
 - G 選ばれる上越市の魅力発信による知名度の向上 3-G-1

第4章 行動計画の推進

- 1 行動計画の効果的な推進 4-1
- 2 上越市新幹線まちづくり推進連携会議 4-2

参考資料

- 1 上越地域を取り巻く状況 資料—1
- 2 北陸新幹線に関する経緯(年表) 資料—12

● 新幹線まちづくり行動計画体系図

新幹線開業を見据えて 目指すべき上越市の姿

人が輝く「住み続けたいまち」「選ばれるまち」

新幹線まちづくりの必要性

新幹線開業に向けた
取組を行わないと.....

新幹線開業
がもたらす
チャンス

全国に発信
したい上越
市の魅力

何もしなければ.....

新幹線開業チャンスをいかせない
地域の魅力は伝わらない

(想定される影響)

来訪者の減少、地域経済の疲弊、
定住人口の減少、企業の撤退、
知名度低下 等

新幹線開業に向け、全市を挙げて
取組を行うと.....

新幹線開業
がもたらす
チャンス

全国に発信
したい上越
市の魅力

新幹線開業効果を発揮する取組を実施

様々な分野で新幹線開業チャンスを
いかし、地域の魅力を発揮

(想定される影響)

来訪者の増加、地域経済の活性化、
定住人口の増加、企業の進出、
知名度向上 等

新幹線まちづくりの背景

● 新幹線開業が上越市に与えるインパクト ●

広域的な移動時間の短縮

新幹線沿線都市を中心とした移動時間が短縮される。

- ・東京から上越：1時間 35分(約27分短縮)
- ・長野から上越：16分(約68分短縮)
- ・富山から上越：32分(約33分短縮)
- ・金沢から上越：47分(約53分短縮)

※北陸新幹線建設促進同盟会試算

広がる交流可能圏域

交流可能圏域が広がる。

- ・1時間以内で上越市に来られる圏域
→約350万人(現在の6.8倍)に拡大
 - ・2時間以内で上越市に来られる圏域
→約3,500万人(現在の3.7倍)に拡大
- 出典：北陸新幹線長野・糸魚川間フル規格整備推進上越広域協議会、新潟県上越地域振興局、糸魚川地域振興局『北陸新幹線を活かした地域振興策のあり方策定業務報告書』平成18年3月

北信越で優位な位置

北信越エリアのほぼ中心に位置し、地理的優位性がさらに向上する。

大きな輸送力・安定した移動

飛行機に比べ運行本数が多く、たくさんの人を運ぶことが可能となる。また、雪の影響を受けにくく、冬でも定時に目的地に到着することが可能となる。

● 新幹線開業がもたらすチャンス ●

交流可能圏域が拡大し、上越市に来訪しやすくなる

来訪者の上越市での滞在可能時間が長くなる

広域移動ルートの拠点として存在感が高まる

企業立地や産業集積、広域的ビジネス展開のポテンシャルが高まる

通勤・通学可能圏域が拡大し、上越市から通いやすくなる

UJターンや二地域居住の場として選ばれやすくなる

首都圏などで上越市の注目度が高まる

全国に向けて発信したい上越市の魅力

奥深く変化に 富んだ風土

- 高田平野
- 日本海
- 南葉山地
- 湖沼群



美しい山々に囲まれた高田平野

北信越エリアの 中心拠点、交通結節点

- 新幹線
- 在来線
- 高速道路
- 直江津港



重要港湾として機能する直江津港

都市の利便性と 自然の恵みを楽しむ 豊かな暮らし環境

- 専門教育機関
- 高度医療機関



田舎暮らし体験

歴史に彩られた まちなみと伝統・文化

- 高田城跡
- 春日山城跡
- 寺町
- 雁木
- 日本酒
- 上越野菜



高田公園の桜と三重櫓

豊かな自然と粘り 強く勤勉な人柄が 支える上越市の産業

- 勤勉な人柄
- 米作り
- IT関連産業



第14回機械要素技術展
(上越ブース)

新幹線まちづくりの基本的方向

A おもてなし空間と ゲートウェイ機能の充実

上越(仮称)駅は、上越市の新しい顔であり、来訪者が最初に降り立つゲートウェイとして、多くの方々にとって満足してもらえる質の高い新都市空間の形成を目指す。

B 上越市の魅力をつなぐ おもてなしのネットワークづくり

目的地に応じて適切な交通手段を選択し、上越(仮称)駅から迷うことなくスムーズに移動・周遊できる環境を充実させるとともに、上越市への来訪者がおもてなしのこのころを感じられる環境づくりを目指す。

C 何度でも訪れたい 多彩な観光コンテンツの充実

上越ならではの歴史や風土、食文化などを楽しめる観光資源を磨き上げ、何度でも訪れたいくなるような観光コンテンツを充実し、交流人口の拡大を目指す。

D 上越市の食・ものづくりの力を いかした産業の活性化

さらに優位となった立地特性をいかして、進出企業の立地を促進するとともに、上越市の特産品や食文化、ものづくりの力をいかして、新たな技術や商品を開発することにより、産業の活性化を目指す。

E 多様なライフスタイルが可能な 上越暮らしの促進

上越市の魅力をいかして、多様なニーズに対応した暮らし方の情報発信を行い、地域間交流を活性化し、定住人口の増加を目指す。

F 高速交通基盤をいかした 拠点性の強化

地域医療や教育、スポーツなどの分野において、上越市の地理的優位性や高速交通基盤をいかした拠点性の強化を目指す。

G 選ばれる上越市の魅力発信による 知名度の向上

観光やビジネス展開の舞台として選ばれるよう、全国での上越市の知名度や存在感の向上を目指す。

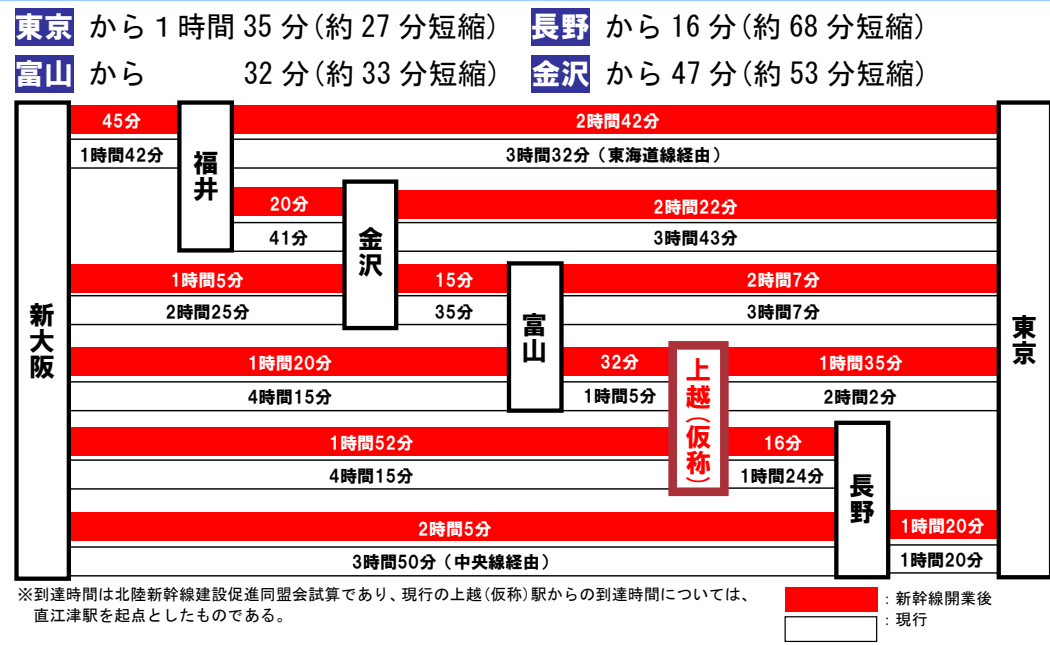
新幹線開業のチャンスと上越市の魅力をいかしたまちづくりを推進

● 新幹線まちづくりの背景

新幹線開業が上越市に与えるインパクト

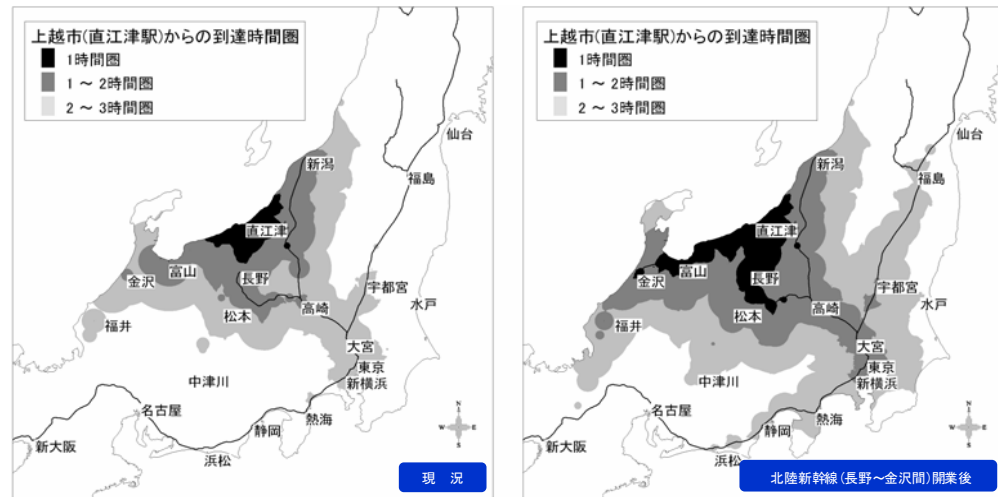
北陸新幹線の開業によって、上越市と沿線都市との移動時間が短縮し、交流圏が飛躍的に拡大します。

広域的な移動時間の短縮



広がる交流可能圏域

1時間以内 で上越市に來られる圏域：約 350 万人(現在の 6.8 倍)に拡大
2時間以内 で上越市に來られる圏域：約 3,500 万人(現在の 3.7 倍)に拡大



出典：北陸新幹線長野・糸魚川間フル規格整備推進上越広域協議会、新潟県上越地域振興局、糸魚川地域振興局『北陸新幹線を活かした地域振興策のあり方策定業務報告書』平成 18 年 3 月

北信越で優位な位置

北信越エリアのほぼ中央に位置し、地理的優位性がさらに向上

大きな輸送力 安定した移動

運行本数 飛行機の約 4～5 倍
1便当たりの輸送量 飛行機の約 2～3 倍
 雪の影響を受けにくく、冬でも定時に目的地に到着することが可能



新幹線開業がもたらすチャンス

上越市にとって新幹線開業は、観光やビジネスはもちろんのこと、農業や医療福祉、教育など、様々な分野でその効果が広がる、またとないチャンスです。

交流可能圏域が拡大し、上越市に來訪しやすくなります



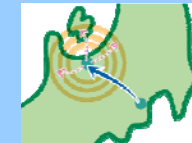
東京をはじめ、大宮・横浜・宇都宮などの首都圏の大都市や福井などが 2 時間の到達時間圏内に入り、日帰りの小旅行やビジネス目的での來訪が可能になります。

來訪者の上越市での滞在可能時間が長くなります



移動時間の短縮で、遅い時間の新幹線で帰ることが可能になります。その時間の分だけ、上越市に長く滞在し、市内を回遊していただくことが可能になります。

広域移動ルートの拠点として存在感が高まります



東京方面から、新潟県に入って第 1 番目の駅が上越(仮称)駅です。首都圏と北陸圏をつなぐ玄関口としての存在感が高まると同時に、新潟と富山・金沢をつなぐ結節点として重要な位置になります。

企業立地や産業集積、広域的ビジネス展開のポテンシャルが高まります



首都圏・北陸圏の主要都市から 1～2 時間でアクセスできるため、広域的なビジネス展開ができるようになり、新たな企業立地が期待できます。また、市内企業と関わりのある産業の集積を目指すこともできます。

通勤・通学可能圏域が拡大し、上越市から通いやすくなります



移動時間の短縮で、これまで単身赴任や下宿などが必要であった都市へも自宅から通勤・通学することが可能となります。

UJターンや二地域居住の場として選ばれやすくなります



首都圏からの近接性や利便性、豊かな自然環境を兼ね備えた拠点形成を進めることによって、定住や、都市(仕事・平日)と田舎(余暇・休日)を使い分けたライフスタイルを実現する場としての可能性や期待感が高まります。

首都圏などで上越市の注目度が高まります



東京から新幹線を利用して、短時間で直接アクセスできる都市として、首都圏などでの上越市の注目度が高まります。

● 全国に向けて発信したい上越市の魅力

上越市には、長い歴史と美しく恵み豊かな自然環境に育まれてきた多彩な魅力があります。
北陸新幹線・上越(仮称)駅の開業は、このような上越らしい魅力を全国に発信し、地域を活性化するためのチャンスです。

奥深く変化に富んだ風土

上越市の中央部には関川・保倉川などが流れ、この流域に高田平野が広がっています。この平野を取り囲むように、米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地などの山々が連なっており、広大な日本海に目を向けると、海岸線には砂丘が続き、砂丘と平野の間には天然の湖沼群が点在しています。

こうした変化に富んだ地形は、自然の美しい風景や、深々と降り積もる雪、清冽な水をつくり、豊かな自然と共に生きる先人の知恵の詰まった農山村や美しい棚田など、豊かで奥深い風土を育てています。



都市の利便性と自然の恵みを 享受できる豊かな暮らし環境



上越市は、上越教育大学や県立看護大学などの専門教育機関や、県立中央病院、新潟労災病院、上越総合病院などの高度医療機関が充実しているほか、四季折々の表情のある豊かな自然を体全体で感じる様々な体験など、都市的な利便性と自然の恵みを享受しながら、多様なライフスタイルを実現できる地域です。

歴史に彩られたまちなみと伝統・文化



上越市は、湊町、城下町、寺町、宿場町など、様々な側面を有しながら長い時間をかけて発展してきました。上越市のまちでは、積み重ねられた歴史を今に伝える様々な遺産や伝統・文化に触れることができます。

また、雪がもたらす豊かな水と良質な大地が育てた作物や食文化は、上越市の人々の暮らしを支えとともに、多くの人の舌を楽しませてきました。

北信越エリアの中心拠点、交通結節点

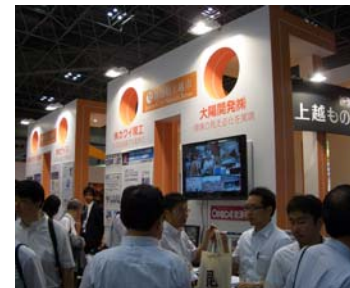


上越市は、北信越エリアのほぼ中央に位置し、北陸自動車道と上信越自動車道が接続するほか、平成26年度末に開業予定の北陸新幹線や北陸本線、信越本線、ほくほく線といった複数の主要な鉄道が市内で結節するなど、陸上交通の要衝となります。

さらに、海上交通の拠点となる直江津港を有しており、日本海の先に広がるアジア地域との交流の拠点となる可能性を持っています。



豊かな自然と粘り強く 勤勉な人柄が支える上越市の産業



豊かな自然と粘り強く勤勉な人柄は、地域経済の発展を支える原動力となっています。

上越市は、陸上・海上交通の要衝として古くから栄え、化学工業、機械金属加工業など、多彩な産業技術が集積されてきました。近年は、半導体、電子部品などのIT関連産業が発展しています。

また、農業においても、豊かな自然の恵みを受けて、上越米や上越野菜などの上越ブランドが育ちつつあります。

第1章

はじめに

第1章 はじめに

平成 26 年度末、北陸新幹線(長野～金沢間)が開業し、上越市に大きなチャンスをもたらします。このチャンスをいかすため、「上越市新幹線まちづくり行動計画」を策定し、全市を挙げて新幹線の開業効果を最大限発揮できるまちづくりを進めます。

1 上越市新幹線まちづくり行動計画とは

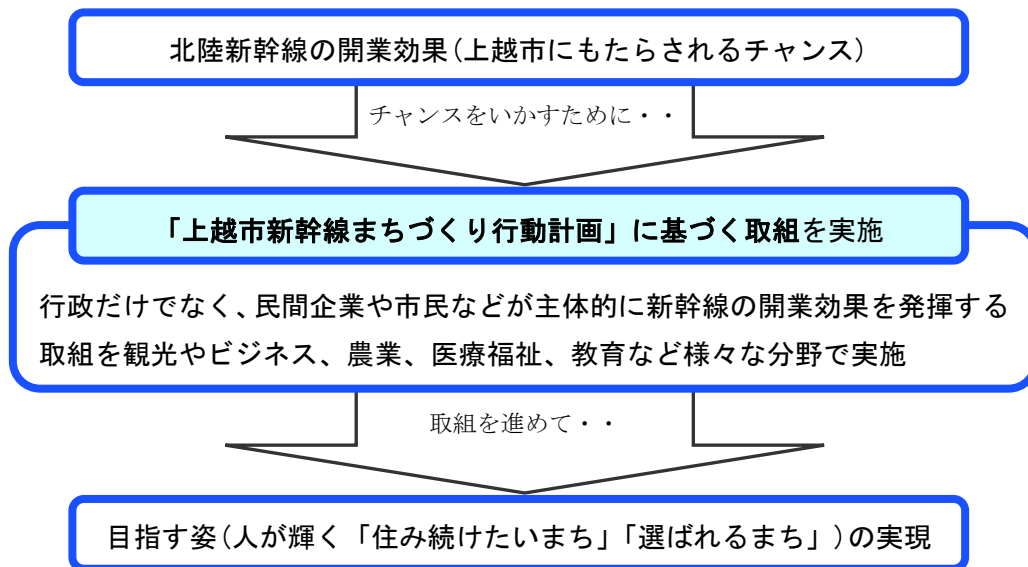
● 計画策定の趣旨

北陸新幹線は、長野・白山総合車両基地間がフル規格で平成 26 年度末の完成を目指すこととされており、21 世紀の高速交通体系の柱として日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に不可欠な国家プロジェクトであり、沿線地域の飛躍的な発展を図るうえで大きな効果をもたらす地球環境時代の公共交通機関として建設が進められています。

当市においては、新たな玄関口として上越(仮称)駅が開業することになり、首都圏や北陸方面などとの移動時間が短縮され、市民はもとより観光やビジネスなどで当市を訪れる人々の利便性が向上するとともに、市外各地との地域間交流、交流居住の可能性が拡大し、これまで以上に地域経済の活性化が期待されるところです。

このような状況を踏まえ、北陸新幹線の開業効果を最大限にいかすため、観光やビジネスだけでなく、農業や医療福祉、教育など様々な分野において開業効果が発揮されるよう、行政や民間企業、市民などがそれぞれの役割を明確にしなが、全市を挙げて取組を進める必要があります。

このことから、推進すべき具体的な取組を明らかにする「上越市新幹線まちづくり行動計画」を策定し、新幹線の開業効果を最大限にいかしながら、**人が輝く「住み続けたいまち」「選ばれるまち」**の実現を目指します。



【図 1-1 上越市新幹線まちづくり行動計画概念図】

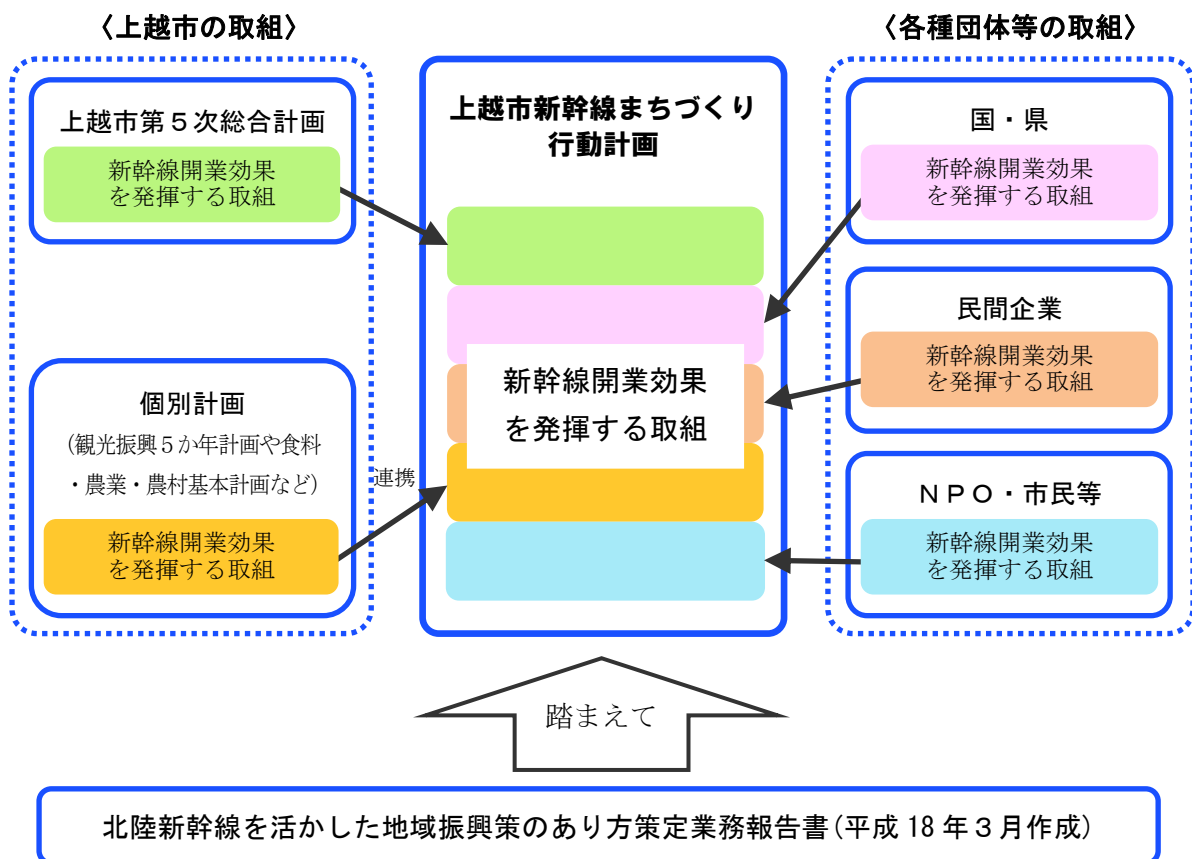
● 計画の位置付け

行動計画は、『北陸新幹線を活かした地域振興策のあり方策定業務報告書(※)』（平成 18 年 3 月）における基礎調査や上越地域における地域振興策のあり方（課題と対応策、取組の方向性）を踏まえて、北陸新幹線・上越（仮称）駅の開業インパクトを最大限にいかすためのまちづくりの基本的方向や具体的な取組方策をまとめたものです。

また、行動計画は、全市を挙げて推進することを前提としており、上越市のみならず、国や県、民間企業、NPO、市民などの多様な主体が取組を進めていくほか、妙高市や糸魚川市、佐渡市などの周辺自治体、さらには隣県自治体と有機的に連携・協力し、推進していきます。

なお、上越市が実施主体となる取組を進めるうえで、市におけるまちづくりの最上位計画である「上越市第 5 次総合計画」に位置付けられている施策のうち、新幹線に関連する施策について、行動計画に位置付けるとともに、「観光振興 5 か年計画」や「食料・農業・農村基本計画」などの個別計画と連携を図ります。

※北陸新幹線長野・糸魚川間フル規格整備推進上越広域協議会、新潟県上越地域振興局、糸魚川地域振興局作成



【図 1 - 2 上越市新幹線まちづくり行動計画の位置付け】

● 計画の期間

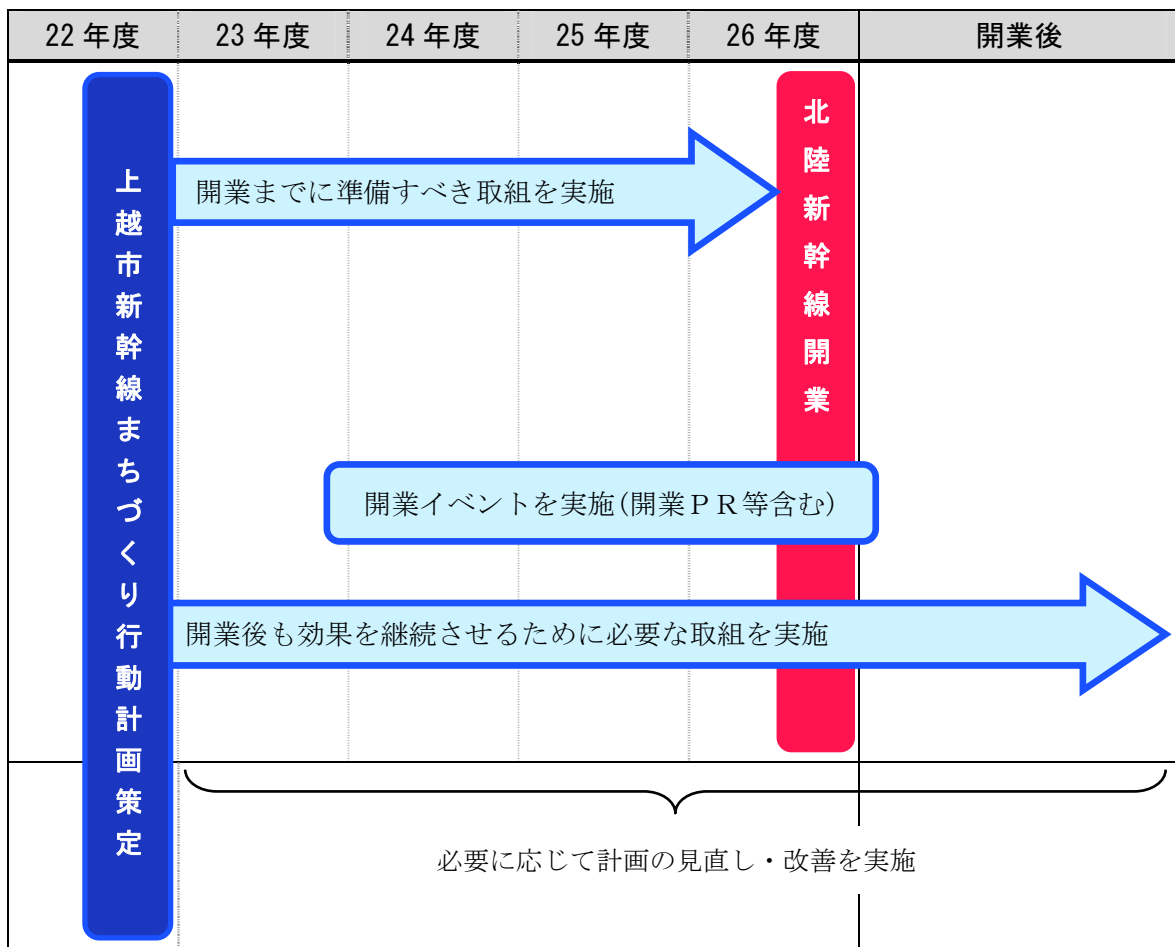
行動計画の期間は、平成 23 年度から、北陸新幹線・上越(仮称)駅の開業が予定されている平成 26 年度までの 4 年間で基本としながら、新幹線開業後もその効果を継続させるための取組を実施することも視野に入れていきます。

終期については、実施主体が自主的に取り組める時期を見定めて、その効果について、評価・検証する中で、実施主体間の協議・調整により決定することとします。

● 計画に登載する取組の考え方

行動計画に登載する取組については、その目的とともに、実施主体や連携団体などを明確にして、実効性のある取組とします。

各々の取組は、「開業イベント」、「開業前に準備すべき取組」、「開業後も効果を継続させるために必要な取組」に区分し、開業が予定されている平成 26 年度までの 4 年間及び開業後について、取組のスケジュールを具体的に明記しています。また、社会情勢の変化や実情などを踏まえ、毎年度、取組の進捗状況を評価・検証し、必要に応じて見直し・改善を実施することとしています。



【図 1-3 計画に登載する取組の考え方とスケジュール】

2 北陸新幹線の概要

● 整備新幹線の概要

整備新幹線は、「全国新幹線鉄道整備法」に基づき整備計画が定められており、従来から政府与党間の申合せなどに基づき着実に整備が推進されています。平成16年12月には、開業効果をできる限り早期に発揮させることが国民経済上重要との観点から、既に着工した区間の工期短縮を図るとともに、収支改善効果や投資効果などを厳密に検証したうえで、特に整備効果の高い区間や既に着工している区間と同時開業が望ましい区間について新たに着工することなどを内容とする政府・与党申合せが決定されました。主な決定内容は次のとおりであり、この申合せに基づき着実な整備が進められています。

- 1) 北海道新幹線(新青森—新函館間)は平成17年度初に新規着工する
- 2) 北陸新幹線(富山—石動間、金沢—白山総合車両基地間、福井駅部)は平成17年度初に新規着工し、長野—白山総合車両基地間をフル規格で一體的に整備する
- 3) 九州新幹線長崎ルート(武雄温泉—諫早間)は並行在来線区間の運営のあり方についての調整が整った後に新規着工する

なお、整備新幹線を建設する区間の並行在来線については、JRの経営に対する過重な負担を避けるため、累次の政府与党間の申合せなどにおいて、整備新幹線の開業時にJRの経営から分離することとされています。



出典：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構「鉄道・運輸機構ホームページ」<<http://www.jrnt.go.jp/>>

【図1-4 整備新幹線の現状】

東北新幹線の八戸～新青森間は、平成 22 年 12 月 4 日に開業し、九州新幹線の博多～新八代間についても、平成 23 年 3 月 12 日の開業が決定しています。また、平成 26 年度末には北陸新幹線の長野～金沢間、平成 27 年度末には北海道新幹線の新青森～新函館間が完成する予定です。

このことから、東北・北海道、北陸、九州地方において、下表に示すように、鉄道の移動時間は大幅に短縮されることが予想されます。

整備区間	概算所要時間	
	現行	整備後
北海道新幹線 新青森～新函館	5 時間58分	約 3 時間58分 約 2 時間短縮
東北新幹線 八戸～新青森	3 時間59分	約 3 時間 2 分 約 57分短縮
北陸新幹線 長野～白山総合車両基地	東京～富山 3 時間10分	約 2 時間10分 約 1 時間短縮
	東京～金沢 3 時間44分	約 2 時間28分 約 1 時間16分短縮
九州新幹線(鹿児島ルート) 博多～新八代	博多～鹿児島中央 2 時間11分	約 1 時間20分 約 51分短縮
九州新幹線(長崎ルート) 武雄温泉～諫早	博多～長崎(フリーゲージトレイン) 1 時間47分	約 1 時間19分 約 28分短縮

- (注) 1 現行の所要時間は、平成 16 年 10 月ダイヤによる。
 2 整備区間の最高速度について、北海道新幹線・北陸新幹線・九州新幹線(鹿児島ルート)は 260 km/h、九州新幹線(長崎ルート)は 200 km/h を想定。東北新幹線は大宮・宇都宮間 275 km/h、宇都宮・盛岡間 320 km/h、盛岡・新青森 260 km/h を想定。
 3 東京・新青森間の整備後の所要時間は、平成 24 年度末時点(JR 東日本による高速化計画(平成 19 年 11 月発表)実施後)。

出典：国土交通省『国土交通白書 2009』平成 21 年 4 月

【図 1-5 新幹線整備による時間短縮効果】

● 北陸新幹線の概要

北陸新幹線は、東京を起点として長野、上越、富山、金沢、福井などの主要都市を経由し、大阪に至る延長約 700km の路線です。

このうち、高崎～長野間は、平成 9 年 10 月から営業運転されています。また、長野～上越(仮称)間は平成 10 年 3 月に、上越(仮称)～富山間は平成 13 年 5 月に、富山～金沢間は平成 17 年 6 月にそれぞれ着工し、平成 26 年度末の完成を目指し建設工事が進められています。福井駅部建設工事については、平成 20 年度末に完成しています。

北陸新幹線の長野～金沢間の開業に伴い、上越(仮称)～東京間は最速で約 1 時間 35 分で結ばれ、また、北陸新幹線が全線開業すると、上越(仮称)～新大阪間は、最速で約 1 時間 52 分で結ばれることが期待されます。

【表 1-1 北陸新幹線の計画概要】

全 区 間	東京～新大阪間(総延長/約 700km、うち東京～高崎間/105km は東北新幹線及び上越新幹線と共用)		
区 間	延長(km)	所要時間	時間短縮
・上越(仮称)～東京間	約 282	約 1 時間 35 分	約 27 分
・上越(仮称)～新大間	約 421	約 1 時間 52 分	約 2 時間 23 分
表定速度	長野～金沢間 240km/h 想定		
開業予定	長野～金沢間 平成 26 年度		

資料：北陸新幹線長野・糸魚川間フル規格整備推進上越広域協議会、新潟県上越地域振興局、糸魚川地域振興局『北陸新幹線を活かした地域振興策のあり方策定業務報告書』平成 18 年 3 月



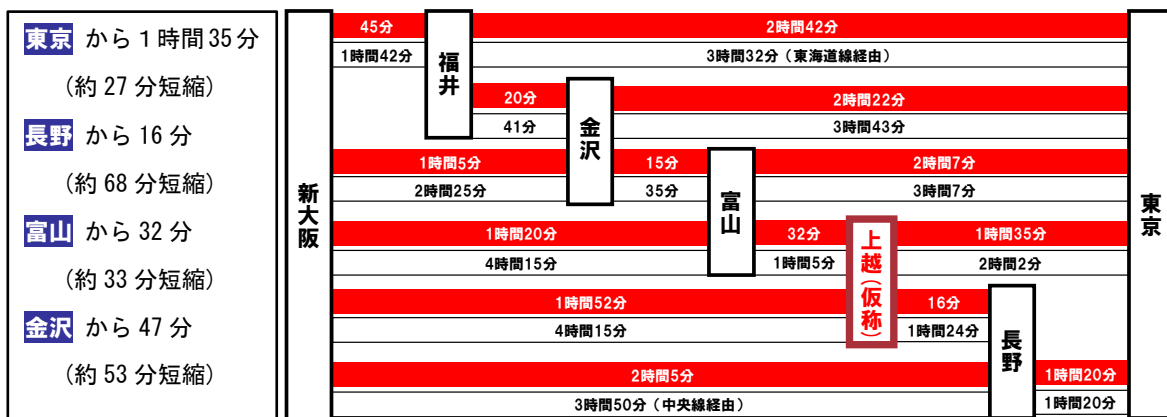
【図 1-6 北陸新幹線のルート】

3 新幹線開業が上越市に与えるインパクト

北陸新幹線の開業が上越市に与えるインパクトは以下のようなものが考えられます。

● 広域的な移動時間の短縮

北陸新幹線が開業すると、広域的な移動時間が短縮されます。東京から最速で約1時間35分(約27分短縮)、長野から約16分(約68分短縮)となります。



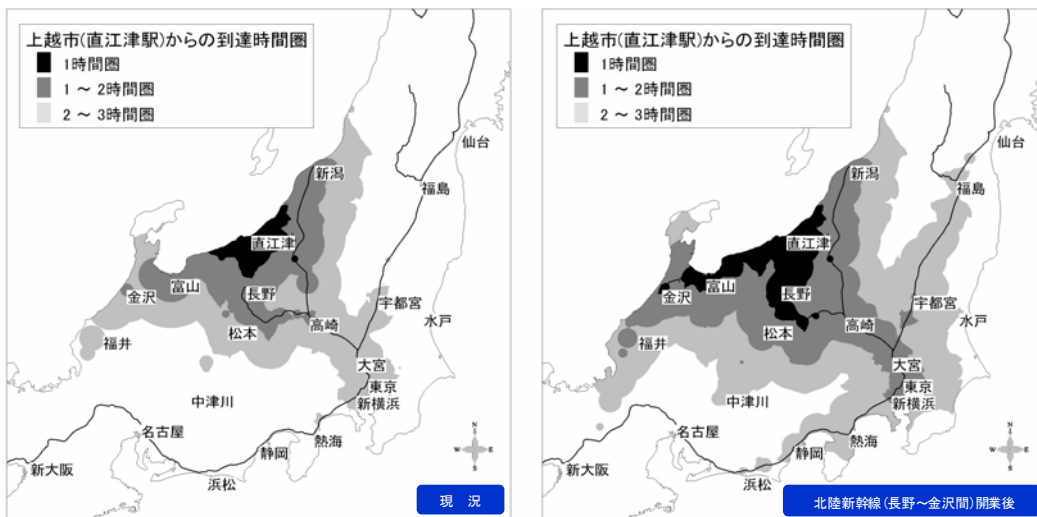
※到達時間は北陸新幹線建設促進同盟会試算であり、現行の上越(仮称)駅からの到達時間については、直江津駅を起点としたものである。

■ : 新幹線開業後
□ : 現行

【図1-7 広域的な移動時間の短縮】

● 広がる交流可能圏域

広域的な移動時間の短縮に伴い、交流可能圏域が拡大します。1時間以内で上越市に来られる圏域は、現在の6.8倍で約350万人となり、また、2時間以内で上越市に来られる圏域は現在の3.7倍で約3,500万人になります。



1時間以内で上越市に来られる圏域：約350万人(現在の6.8倍)に拡大

2時間以内で上越市に来られる圏域：約3,500万人(現在の3.7倍)に拡大

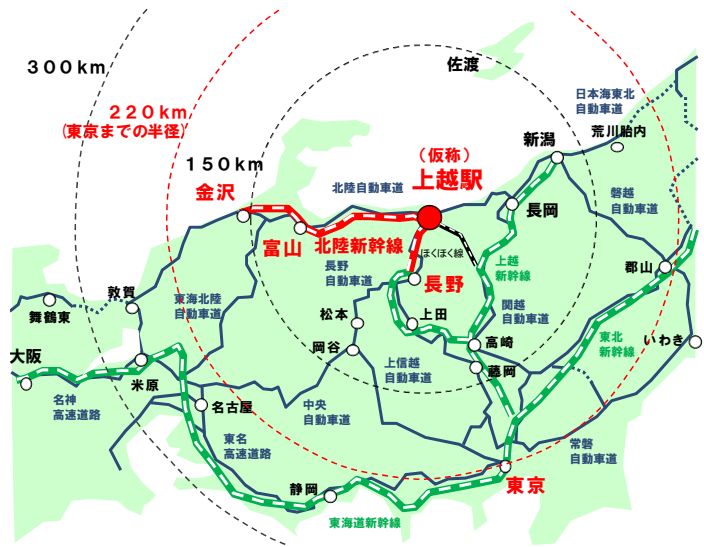
出典：北陸新幹線長野・糸魚川間フル規格整備推進上越広域協議会、新潟県上越地域振興局、糸魚川地域振興局『北陸新幹線を活かした地域振興策のあり方策定業務報告書』平成18年3月

【図1-8 広がる交流可能圏域】

● 北信越で優位な位置

上越市は、北信越エリアのほぼ中央に位置しており、北陸自動車道と上信越自動車道が接続するほか、海上交通の拠点となる直江津港を有しており、日本海の先に広がるアジア地域との交流の拠点となる可能性を有しています。

北陸新幹線開業後には、道路、鉄道ともに高速交通網が充実し、鉄道利用では、長野市、富山市、金沢市、長岡市などから1時間以内で来訪できるようになります。



【図1-9 上越市の位置】

● 大きな輸送力・安定した移動

北陸地方では、冬季の降雪などの悪天候時に航空機の運行障害や高速道路の交通規制が発生します。新幹線の降雪対策や安全対策は、上越・東北新幹線で実証済みであり、安全性や信頼性の面で他の交通機関より格段に優れているほか、運行本数は飛行機の約4～5倍、1便当たりの輸送量は約2～3倍と、飛行機に比べ大きな輸送力を有しています。

【表1-2 新幹線と飛行機との比較】

(平成23年2月時点)

	新幹線	飛行機
比較対象	あさま8両編成(東京～長野間) 	全日空76P=B767-300(東京～富山間) 
席数	630席	270席
運行本数	27往復(54便)	6往復(12便)
運休率	0.18%	0.3%

資料：国土交通省「国土交通省ホームページ(鉄道及び航空交通に係る運休(欠航)率)」<<http://www.mlit.go.jp/>>

4 新幹線開業がもたらすチャンス

新幹線開業が上越市に与えるインパクトは、地域に様々なチャンスをもたらします。

上越市では、観光やビジネスはもちろんのこと、農業や医療福祉、教育など、様々な分野でその効果が広がる、またとないチャンスです。

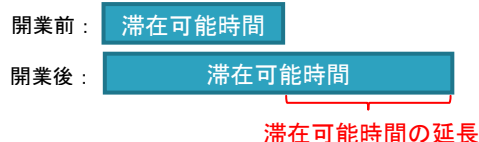
● 交流可能圏域が拡大し、上越市に来訪しやすくなります

東京をはじめ、大宮・横浜・宇都宮などの首都圏の大都市や福井などが2時間の到達時間圏内に入り、日帰りの小旅行やビジネス目的での来訪が可能になります。



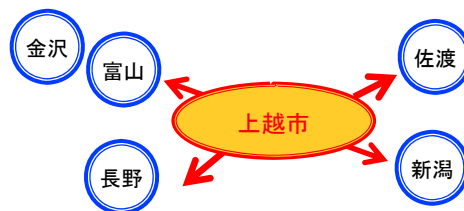
● 来訪者の上越市での滞在可能時間が長くなります

移動時間の短縮で、遅い時間の新幹線で帰ることが可能になります。その時間の分だけ、上越市に長く滞在し、市内を回遊していただくことが可能になります。



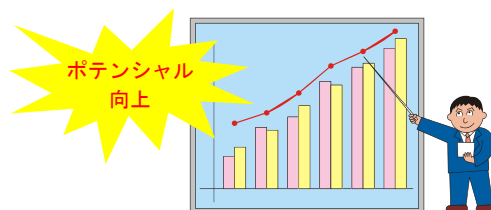
● 広域移動ルートの拠点として存在感が高まります

東京方面から、新潟県に入って第1番目の駅が上越(仮称)駅です。首都圏と北陸圏をつなぐ玄関口としての存在感が高まると同時に、新潟と富山・金沢をつなぐ結節点として重要な位置になります。



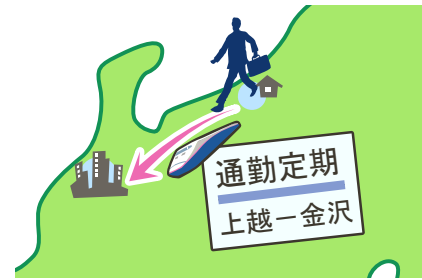
● 企業立地や産業集積、広域的ビジネス展開のポテンシャルが高まります

首都圏・北陸圏の主要都市から1～2時間でアクセスできるため、広域的なビジネス展開ができるようになり、新たな企業立地が期待できます。また、市内企業と関わりのある産業の集積を目指すこともできます。



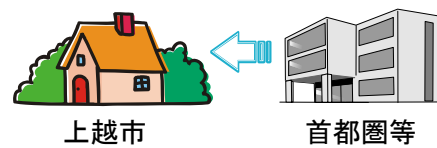
● 通勤・通学可能圏域が拡大し、上越市から通いやすくなります

移動時間の短縮で、これまで単身赴任や下宿などが必要であった都市へも自宅から通勤・通学することが可能となります。



● UJターンや二地域居住の場として選ばれやすくなります

首都圏からの近接性や利便性、豊かな自然環境を兼ね備えた拠点形成を進めることによって、定住や、都市(仕事・平日)と田舎(余暇・休日)を使い分けたライフスタイルを実現する場としての可能性や期待感が高まります。



● 首都圏などで上越市の注目度が高まります

東京から新幹線を利用して、短時間で直接アクセスできる都市として、首都圏などでの上越市の注目度が高まります。



5 全国に向けて発信したい上越市の魅力

上越市には、長い歴史と美しく恵み豊かな自然環境に育まれてきた多彩な魅力があります。北陸新幹線・上越(仮称)駅の開業は、このような上越らしい魅力を全国に発信し、地域を活性化するためのチャンスです。

● 奥深く変化に富んだ風土

上越市の中央部には関川・保倉川などが流れ、この流域に高田平野が広がっています。この平野を取り囲むように、米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地などの山々が連なっており、広大な日本海に目を向けると、海岸線には砂丘が続き、砂丘と平野の間には天然の湖沼群が点在しています。

こうした変化に富んだ地形は、自然の美しい風景や、深々と降り積もる雪、清冽な水をつくり、豊かな自然と共に生きる先人の知恵の詰まった農山村や美しい棚田など、豊かで奥深い風土を育んでいます。



美しい山々に囲まれた高田平野

● 北信越エリアの中心拠点、交通結節点

上越市は、北信越エリアのほぼ中央に位置し、北陸自動車道と上信越自動車道が接続するほか、平成26年度末に開業予定の北陸新幹線や北陸本線、信越本線、ほくほく線といった複数の主要な鉄道が市内で結節するなど、陸上交通の要衝となります。

さらに、海上交通の拠点となる直江津港を有しており、日本海の先に広がるアジア地域との交流の拠点となる可能性を持っています。



重要港湾として機能する直江津港

● 都市の利便性と自然の恵みを楽しむ豊かな暮らし環境

上越市は、上越教育大学や県立看護大学などの専門教育機関や、県立中央病院、新潟労災病院、上越総合病院などの高度医療機関が充実しているほか、四季折々の表情のある豊かな自然を体全体で感じる様々な体験など、都市的な利便性と自然の恵みを楽しみながら、多様なライフスタイルを実現できる地域です。



田舎暮らし体験

● 歴史に彩られたまちなみと伝統・文化

上越市は、湊町、城下町、寺町、宿場町など、様々な側面を有しながら長い時間をかけて発展してきました。上越市のまちでは、積み重ねられた歴史を今に伝える様々な遺産や伝統・文化に触れることができます。

また、雪がもたらす豊かな水と良質な大地が育てた作物や食文化は、上越市の人々の暮らしを支えるとともに、多くの人の舌を楽しませてきました。



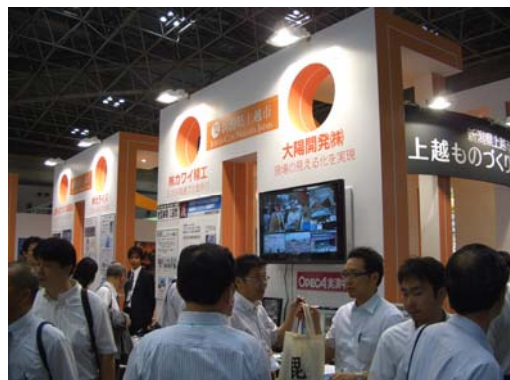
高田公園の桜と三重櫓

● 豊かな自然と粘り強く勤勉な人柄が支える上越市の産業

豊かな自然と粘り強く勤勉な人柄は、地域経済の発展を支える原動力となっています。

上越市は、陸上・海上交通の要衝として古くから栄え、化学工業、機械金属加工業など、多彩な産業技術が集積されてきました。近年は、半導体、電子部品などのIT関連産業が発展しています。

また、農業においても、豊かな自然の恵みを受けて、上越米や上越野菜などの上越ブランドが育ちつつあります。



第14回機械要素技術展(上越ブース)

第2章

新幹線まちづくりの基本的方向

第2章

新幹線まちづくりの基本的方向

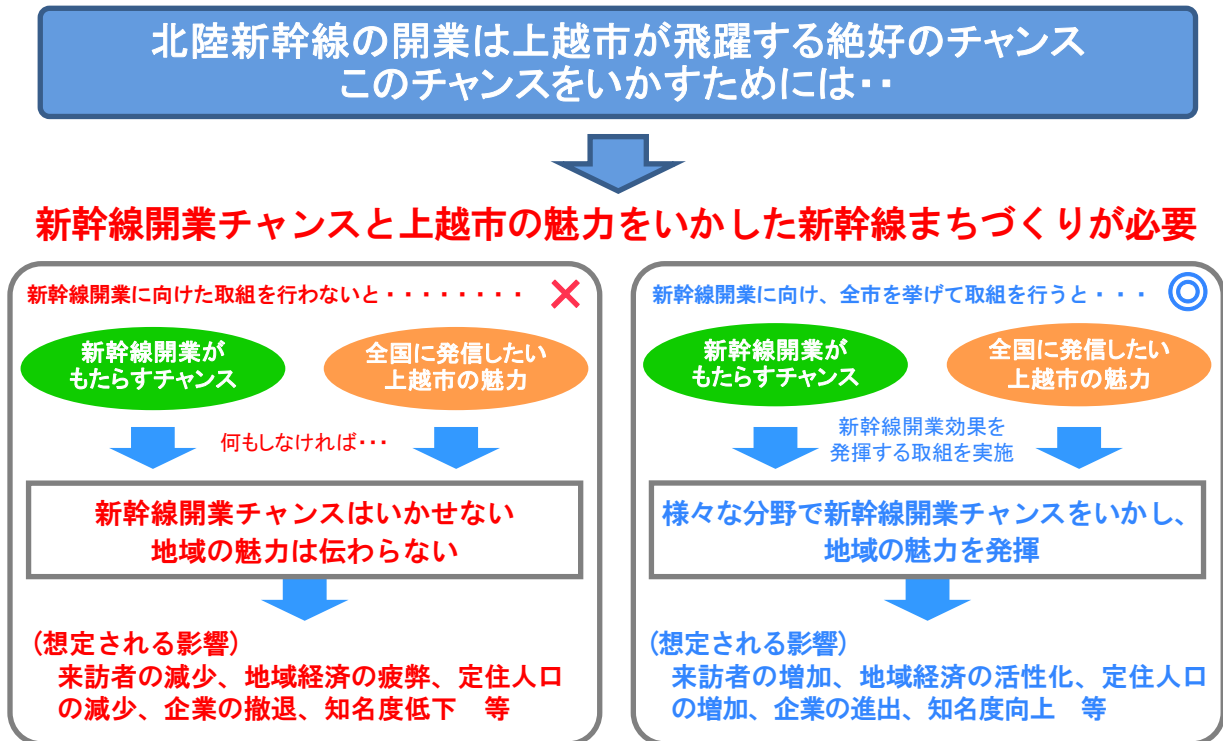
1 新幹線開業のチャンスと上越市の魅力をいかしたまちづくり

北陸新幹線開業のインパクトは、新幹線が開業することにより上越市に確実にもたらされます。しかし、新幹線開業がもたらすチャンスは、地域全体で開業効果を高める取組を進めていかなければ、いかすことができません。

また、平成26年度末に北陸新幹線が開業することにより、上越市は北信越エリアの中心拠点、交通結節点として、さらに存在感が高まります。

さらに、奥深く変化に富んだ風土や都市の利便性と自然の恵みを楽しむ豊かな暮らし環境、歴史に彩られたまちなみと伝統・文化、豊かな自然と粘り強く勤勉な人柄が支える上越市の産業など、全国に向けて発信したい上越市の魅力は、全国そして海外からも注目を集めるための重要な資源となります。

上越市が新幹線開業を契機にさらなる発展を遂げるため、また、上越市が目指す姿として **人が輝く「住み続けたいまち」「選ばれるまち」** を実現するためには、新幹線開業がもたらすチャンスと 全国に向けて発信したい上越市の魅力をいかした新幹線まちづくりを進めていく必要があります。



【図2-1 新幹線開業チャンスと上越市の魅力をいかしたまちづくり】

2 基本的方向

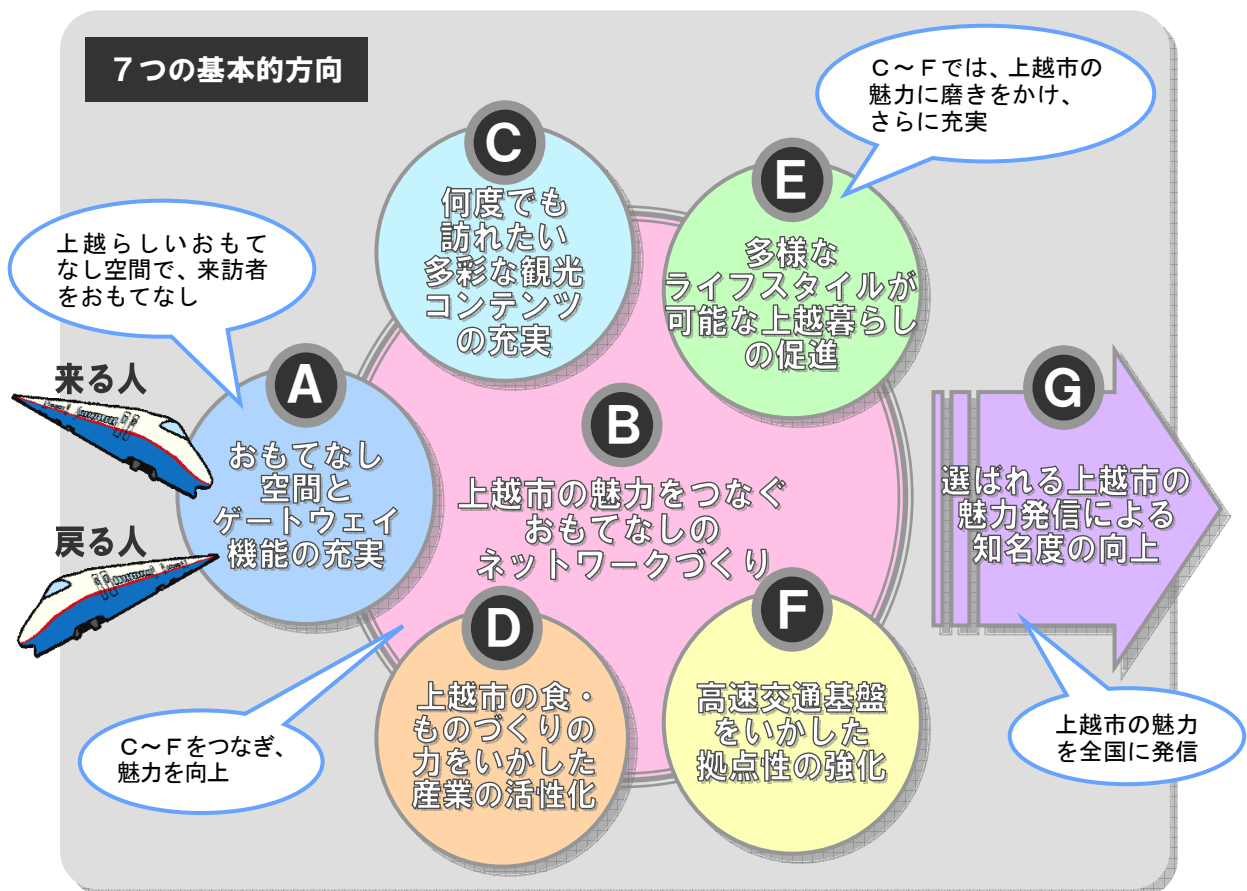
人が輝く「住み続けたいまち」「選ばれるまち」を実現するためには、「新幹線開業がもたらすチャンス」と「全国に向けて発信したい上越市の魅力」をいかしたまちづくりを推進していく必要があります。

具体的には、上越らしいお出迎え、お見送りができる「おもてなし空間」として、駅前公共空間の整備や商業・業務施設の立地を促進するとともに、上越地域のゲートウェイとして必要な機能を整備する必要があります。

また、上越市には歴史・伝統・文化をはじめとした観光資源、食・ものづくりの力、多様なライフスタイルを実現できる環境、そして、新幹線開業でさらに高速交通基盤が充実する拠点性など様々な魅力があり、新幹線開業に向けて、これらを磨きあげるとともに、上越ならではのおもてなしのネットワークでつなぎ、魅力をさらに高めることが必要です。

さらには、新幹線開業を契機として高めた上越市の魅力を、首都圏をはじめ全国へ発信することにより、知名度を向上させる必要があります。

行動計画では、これらのことを踏まえ、**7つの基本的方向(A～G)**を掲げ、基本的方向に基づいた取組を着実に実施していきます。



【図2-2 7つの基本的方向】

A**おもてなし空間とゲートウェイ機能の充実****取組目標**

上越(仮称)駅は、上越市の新しい顔であり、来訪者が最初に降り立つゲートウェイとして、多くの方々にとって満足してもらえる質の高い新都市空間の形成を目指します。

【取組方針】

上越らしいお出迎え、お見送りができる「おもてなし空間」として、駅前公共空間の整備や商業・業務施設の立地を促進するとともに、来訪者の利便性向上に資するエキナカ機能を充実させていきます。

B**上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり****取組目標**

目的地に応じて適切な交通手段を選択し、上越(仮称)駅から迷うことなくスムーズに移動・周遊できる環境を充実させることで、目的地までの到達時間の短縮や来訪者の域内での滞在時間の増加を目指すとともに、上越市への来訪者がおもてなしのこころを感じられる環境づくりを目指します。

【取組方針】

並行在来線や路線バス、佐渡航路など、新幹線を利用して来訪する方々の二次交通の充実や、新幹線からの乗継等の利便性向上とともに、上越(仮称)駅へのアクセス性の向上を図ります。

また、来訪者を温かく迎える受入体制を強化するとともに、外国人観光客にも対応したおもてなしの向上を図ります。

C**何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実****取組目標**

上越ならではの歴史や風土、食文化などを楽しめる観光資源を磨き上げ、全国・海外からも多くの人を呼べるような観光コンテンツや、一度の来訪で上越市の魅力の奥深さを知り、何度でも訪れたいような観光コンテンツを充実し、交流人口の拡大を目指します。

【取組方針】

地域の自然や歴史、伝統、文化等をいかした誘客の促進や、来訪者が周遊・滞在するための多彩な観光メニュー・ルートづくりを進めます。また、上越地域3市や北陸新幹線沿線都市などと広域的な観光連携を図りながら、周遊・観光ルートの創出や連携イベントの開催、PR活動の充実を進めます。

D**上越市の食・ものづくりの力をいかした産業の活性化****取組目標**

新幹線開業によって、さらに優位となった立地特性をいかして、進出企業の立地を促進するとともに、上越市の特産品や食文化、ものづくりの力をいかして、新たな技術や商品を開発することにより、産業の活性化を目指します。

【取組方針】

産学連携や産産連携による内発型ものづくり産業の活性化を進め、上越市の多彩な地域資源をいかした新商品や技術開発を進めます。

また、市内企業の製品PRや、産業による新たな交流の創出により、地域産業の活性化を図るとともに、新たな特産品の開発や農産物のブランド力向上に向けたPR、流通・販売促進を進めていきます。

E**多様なライフスタイルが可能な上越暮らしの促進****取組目標**

上越市の魅力をいかして、多様なニーズに対応した暮らし方の情報発信を行い、地域間交流を活発化し、定住人口の増加を目指します。

【取組方針】

上越市の暮らしの情報や中長期滞在施設、体験プログラムの紹介など、首都圏や関西方面などを中心としたPR活動を通じて、定住の促進を図ります。

F**高速交通基盤をいかした拠点性の強化****取組目標**

地域医療や教育、スポーツなどの分野において、上越市の地理的優位性や高速交通基盤をいかした拠点性の強化を目指します。

【取組方針】

地域医療の充実を図る一方、教育・研究機関の誘致や教育をテーマとした人的交流による教育体制の充実を推進するとともに、地理的優位性をいかしたスポーツ交流などの充実を図ります。

G**選ばれる上越市の魅力発信による知名度の向上****取組目標**

観光やビジネス展開の舞台として選ばれるよう、全国での上越市の知名度や存在感の向上を目指します。

【取組方針】

地域での新幹線開業の歓迎ムードを高める一方で、全国に向けて、開業の話題性を十分にいかした開業イベントや各種キャンペーンを通じて、上越市の魅力を発信します。

第3章

新幹線まちづくりの取組方策

第3章

新幹線まちづくりの取組方策

1 取組方策の体系

新幹線まちづくりの7つの基本的方向(A~G)に基づいて、31の取組方策を定めました。

取組方策		取組名
A おもてなし空間とゲートウェイ機能の充実		
A1	有効な土地利用と質の高い駅前公共空間の整備	① 土地区画整理事業の推進 ② 信越本線移設事業の推進
A2	商業・業務機能の充実	① 商業・業務施設の誘致
A3	エキナカ機能の整備	① エキナカ機能の整備
B 上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり		
B1	並行在来線の充実	① 並行在来線の利用促進及び利便性向上
B2	路線バスの充実	① 路線バスの利便性向上
B3	小木直江津航路の充実	① 小木直江津航路の利便性向上
B4	道路交通網の整備	① アクセス道路の整備 ② 上越(仮称)駅に誘導する案内標識の整備
B5	観光関連事業者によるおもてなしの向上	① 観光関連事業者によるおもてなしの向上 ② 期間限定割引サービスの提供
B6	様々な二次交通を補完する機能の充実	① レンタカー機能の充実 ② タクシー乗務員の育成
B7	快適な受入空間の創出	① 観光地のユニバーサルデザイン化 ② 環境美化活動の推進
B8	外国人観光客へのおもてなしの向上	① 外国語が話せる観光ボランティアガイドの養成等 ② 観光関連事業者による外国人観光客へのおもてなしの充実
C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実		
C1	広域観光連携の推進	① 上越地域3市による広域観光連携の推進 ② 北陸新幹線沿線都市との広域観光連携の推進 ③ 小木直江津航路を利用した上越・佐渡広域観光の確立
C2	体験・滞在型観光の推進	① 越後田舎体験メニューの充実 ② メディカルグリーンツーリズム構想 ③ 農業体験による交流の促進
C3	歴史や伝統を通じた誘客促進	① 高田と直江津の中心市街地をいかした誘客促進 ② 謙信公ゆかりの地振興事業の推進 ③ 日本一の雁木通りをいかした誘客促進
C4	森林環境をいかした誘客促進	① 南葉高原森林レクリエーションの推進 ② 南葉高原キャンプ場の受入体制強化
C5	文化財をいかした魅力創出	① 釜蓋遺跡の整備 ② 広域歴史公園の活用
C6	魅力あるイベントや催し物への誘客促進	① 年間を通じたイベントへの誘客促進 ② 総合博物館及び小林古径記念美術館の開業記念イベントの開催
C7	多彩な観光メニューやルートづくり	① 新たなツアー造成の促進 ② テーマ別観光モデルルートの提案

取組方策	取組名
------	-----

D 上越市の食・ものづくりの力をいかした産業の活性化	
D 1	内発型ものづくり産業の活性化 ① 産学連携の推進 ② 産産連携の推進
D 2	企業や事業所等の立地促進 ① 企業や事業所等の誘致 ② 協力会社の誘致
D 3	市内企業における産業の活性化 ① 市内企業における産業の活性化 ② 新幹線開業によるビジネスチャンスの創出
D 4	食をいかした新たな特産品等の創出 ① 米粉を使用したオリジナル中華麺の開発 ② 上越野菜をいかした郷土料理等の開発 ③ ご当地グルメコンテストの開催

E 多様なライフスタイルが可能な上越暮らしの促進	
E 1	積極的な情報提供による定住促進 ① 定住に関するワンストップ対応の推進

F 高速交通基盤をいかした拠点性の強化	
F 1	地域医療体制の充実 ① 地域医療体制の充実
F 2	教育体制の充実 ① 教育機関や研究機関等の誘致 ② 教育をテーマとした人的交流の促進 ③ 教育関係者をターゲットとした交流促進
F 3	コンベンションの誘致 ① コンベンションの誘致
F 4	地理的優位性をいかしたスポーツ交流の促進 ① 北信越エリアにおける各種大会の積極的誘致 ② 北陸新幹線沿線都市との連携によるスポーツ交流 ③ 地域の特産品に関連付けたスポーツ交流 ④ スポーツ施設の充実

G 選ばれる上越市の魅力発信による知名度の向上	
G 1	新幹線開業PRによる地域の機運醸成 ① 新幹線開業PR ② 新駅見学ツアーの開催
G 2	開業記念イベントの実施 ① 開業記念イベントの実施 ② 開業記念誌の作成
G 3	多様なツールをいかした地域の魅力発信 ① インターネットによる情報発信 ② マスメディアを活用した情報発信 ③ キャラバン活動の展開 ④ 物産展等による情報発信 ⑤ 人脈をいかした情報発信
G 4	新幹線駅名等の検討を通じた知名度向上 ① 新幹線駅名等の検討

2 取組方策

行動計画では、一つひとつの取組方策について、その目的や取組内容、実施主体、スケジュールなどを定めており、毎年度、進捗状況を検証できる構成としています。

●新幹線まちづくりの基本的方向

●整理番号と取組方策の名称

取組方策

取組の目的

◆

.....

.....

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
① ■■■■■■	▲▲▲	△△△
② ■■■■■■	▲▲▲	△△△

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
① ■■■■■■	●●●	●●●	●●●	●●●		
② ■■■■■■	●●●		●●●	●●●	●●●	

期待される効果

交流人口の増加
 滞在時間をより長く提供する
 広域的な交通拠点性を高める
 地域の魅力を高める
 ビジネスチャンスを高める
 地域の知名度や存在感を向上させる
 その他

取組の課題・留意点等

○

.....

.....

●この取組の実施によって、期待される効果を示しています。(該当する項目が太字となっています)

●この取組を実施するうえでの課題や留意点、効果を高めるために有効な方策などを示しています。

●どのような狙いで取組を進めるか、実施主体や連携団体などが共有すべき目的について説明しています。

●具体的取組内容と、それぞれの実施主体、実施にあたって連携・協力する団体などを明記しています。

●取組内容のそれぞれについて、
◇開業イベント
◇開業前に準備すべき取組
◇開業後も効果を継続させるために必要な取組
に区分したうえで、開業年度までの各年度及び開業後の実施予定を明記しています。

A おもてなし空間とゲートウェイ機能の充実

A おもてなし空間とゲートウェイ機能の充実

**取組方策
A 1**

有効な土地利用と質の高い駅前公共空間の整備

取組の目的

◆主要都市と直結する上越地域の玄関口として有効な土地利用を図るとともに、機能的で利用しやすく、周辺の自然環境や景観にも配慮した質の高い駅前公共空間を整備します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①土地区画整理事業の推進	上越(仮称)駅周辺の区画整理を進めるとともに、東西の駅前広場や自由通路、駐輪・駐車場、排水路などを整備します。 また、駅前に多言語併記とした広域観光案内看板など、誘導サインを整備します。	上越市	
②信越本線移設事業の推進	鉄道の利便性向上を図るとともに、駅前広場をはじめとする公共施設の適正な配置と有効な土地利用を図るため、信越本線脇野田駅を上越(仮称)駅の西側に移設し、一体駅として整備します。	J R 東日本 上越市	新潟県

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後	
①土地区画整理事業の推進	開業後も継続	造成工事(商業地含む)					
		駅前広場等設計・工事(駅前広場は開業までに完了)					
		自由通路設計・工事					
		駐輪・駐車場設計・工事					
		排水路工事					
						誘導サイン整備	
②信越本線移設事業の推進	開業前に準備	移設設計・工事(開業前に完了)					
						旧線等撤去工事	

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
- その他

A おもてなし空間とゲートウェイ機能の充実

**取組方策
A2**

商業・業務機能の充実

取組の目的

◆上越地域の玄関口としての機能を高めるため、駅前周辺に必要な商業・業務施設の立地を促進します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①商業・業務施設の誘致	宿泊施設やコンベンション施設、飲食店など、上越(仮称)駅前周辺に必要な商業・業務施設を誘致します。	商業地域土地利用促進協議会	上越市

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①商業・業務施設の誘致	開業後も継続	誘致活動				

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
- その他

A おもてなし空間とゲートウェイ機能の充実

**取組方策
A3**

エキナカ機能の整備

取組の目的

◆情報発信拠点と位置付けたエキナカ機能を整備し、地域の様々な魅力を発信するとともに、新幹線で降り立つ人々へのおもてなし空間を提供します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①エキナカ機能の整備	上越(仮称)駅構内(エキナカ)に観光案内所を担う情報発信機能や、地元産品を使用した飲食機能、物産機能、総合的な交通案内機能などを整備します。	上越市	関係自治体(社)上越観光コンベンション協会 交通事業者

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①エキナカ機能の整備	開業前に準備	運営方法等検討				
		設計	工事			

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める**
- ビジネスチャンスを高める**
- 地域の知名度や存在感を向上させる**
- その他

取組の課題・留意点等

- エキナカの整備にあたっては、関係自治体による共同運営方法や、具体的な情報発信の仕組みなどについて検討する必要がある。

B 上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり

B 上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり

**取組方策
B 1**

並行在来線の充実

取組の目的

◆新幹線開業に伴いJRから経営分離される並行在来線の維持・存続に向けて、利用促進や利便性向上、新幹線との乗り継ぎの円滑化を図り、利用者増加を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①並行在来線の利用促進及び利便性向上	新潟県並行在来線開業準備協議会が策定した「鉄道とまちの共生ビジョン」に基づき、マイレール意識の醸成や利用促進を図ります。 また、上越(仮称)駅からスムーズな乗り継ぎができるよう、在来線のダイヤ編成などを行い、鉄道利用者の利便性向上を図ります。	新潟県並行在来線開業準備協議会 鉄道事業者	新潟県 上越市 妙高市 糸魚川市

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①並行在来線の利用促進及び利便性向上	開業後も継続	マイレール意識醸成・利用促進				
						ダイヤ編成

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める**
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
- その他

B 上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり

**取組方策
B 2**

路線バスの充実

取組の目的

◆上越(仮称)駅からの二次交通となる並行在来線や、小木直江津航路と連携した路線バスの運行により、来訪者がスムーズに目的地に到着できるよう、利便性を確保します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①路線バスの利便性向上	新幹線開業を見据え、上越市内のバス路線の見直しを行う中で、上越(仮称)駅に乗り入れる路線バスを運行するとともに、新幹線や並行在来線、小木直江津航路とのスムーズな乗り継ぎができるよう、運行ダイヤを見直します。 また、バス路線図や時刻表を作成します。	上越市地域公共交通活性化協議会 バス事業者	上越市 佐渡市 航路事業者

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①路線バスの利便性向上	開業後も継続	見直し検討	バス路線見直し			
					路線図・時刻表の作成	

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める**
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
- その他

**取組方策
B 3**

小木直江津航路の充実

取組の目的

◆小木直江津航路の維持・二隻化復帰を目指すとともに、新幹線開業を見据えたスムーズな運航体制を構築し、航路の利用促進及び利便性向上を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①小木直江津航路の利便性向上	上越・佐渡広域観光の基盤となる小木直江津航路の二隻化に向けた情報収集を行い、関係団体などと連携してその実現を目指します。	国土交通省 新潟県 上越市 佐渡市 航路事業者	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①小木直江津航路の利便性向上	開業後も継続					
		情報収集・連携				

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める**
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
- その他

**取組方策
B 4**

道路交通網の整備

取組の目的

◆上越(仮称)駅へのアクセス道路の整備とともに、新幹線利用客に優しい道案内による自家用車のスムーズな誘導を通じて交通結節機能の強化を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①アクセス道路の整備	上越(仮称)駅周辺の主要アクセス道路の計画的な整備を進めるとともに、安全で快適な道路空間を形成します。	国土交通省 新潟県 上越市	
②上越(仮称)駅に誘導する案内標識の整備	高速道路や国道、県道、市道に駅名を表示する案内標識を整備します。	国土交通省 新潟県 東日本高速道路㈱ 上越市	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①アクセス道路の整備	開業後も継続					
		アクセス道路工事				
②上越(仮称)駅に誘導する案内標識の整備	開業前に準備					
				標識整備ワーキンググループ による検討	案内看板 制作・設置	

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める**
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
- その他

**取組方策
B5**

観光関連事業者によるおもてなしの向上

取組の目的

◆観光関連事業者が上越人ならではの愛情のこもったおもてなしを提供し、また来たいと思われるようなイメージ向上に努めます。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①観光関連事業者によるおもてなしの向上	人材育成のための研修会や講演会、誘客促進につながる施設・設備の整備などを行う観光関連事業者に対し、補助制度による支援を実施します。	上越市	(社)上越観光コンベンション協会
②期間限定割引サービスの提供	市内のホテルや旅館などの宿泊施設、公共交通機関、文化・観光施設、飲食店などと連携し、新幹線利用者を対象とした期間限定の割引サービスを提供します。	(社)上越観光コンベンション協会	上越市観光関連事業者 交通事業者

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①観光関連事業者によるおもてなしの向上	開業後も継続					
		補助制度による支援				
②期間限定割引サービスの提供	開業後も継続				サービス内容の検討	サービス提供

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる

■その他

- ・旅行者がスムーズに観光できる
- ・来訪者へのおもてなしが提供できる

B 上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり

**取組方策
B 6**

様々な二次交通を補完する機能の充実

取組の目的

◆ 来訪者が、スムーズかつ快適に目的地に移動できるよう、単なる交通手段ではなく、質の高いサービスやおもてなしを提供します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
① レンタカー機能の充実	ナビゲーションシステムによる観光ルートの事前設定や観光パンフレットの配布など、質の高いサービスの提供を検討します。	レンタカー事業者	(社)上越観光コンベンション協会
② タクシー乗務員の育成	タクシー事業者が観光客に対し、観光スポットやイベント情報など、スムーズかつ丁寧な観光案内サービスが提供できるよう、タクシー乗務員を育成します。	タクシー事業者	(社)上越観光コンベンション協会

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後	
① レンタカー機能の充実	開業後も継続				サービス内容の検討	サービス提供	
② タクシー乗務員の育成	開業後も継続	タクシー乗務員の育成					

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる

■ その他

- ・ 旅行者がスムーズに観光できる
- ・ 来訪者へのおもてなしが提供できる

**取組方策
B7**

快適な受入空間の創出

取組の目的

◆様々なシーンにおいて、誰もが安全・安心かつ快適に過ごせるよう、来訪者へのおもてなしを提供します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①観光地のユニバーサルデザイン化	観光地のユニバーサルデザイン化(段差解消、多目的トイレの設置等)を行います。	上越市	
②環境美化活動の推進	上越(仮称)駅周辺に重点をおいたクリーン活動を実施し、快適で清潔感のあるおもてなし空間を提供します。	ボランティア団体 市民	上越市

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①観光地のユニバーサルデザイン化	開業後も継続	観光施設の修繕等				
②環境美化活動の推進	開業後も継続					クリーン活動 実施

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる

■その他

- ・旅行者がスムーズに観光できる
- ・来訪者へのおもてなしが提供できる

B 上越市の魅力をつなぐおもてなしのネットワークづくり

**取組方策
B 8**

外国人観光客へのおもてなしの向上

取組の目的

◆中国や台湾、韓国などのアジア諸国を中心とした外国人観光客へのおもてなしの向上を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①外国語が話せる観光ボランティアガイドの養成等	外国語が話せる観光ボランティアガイドを養成するため、養成講座を実施します。また、外国人向けの観光パンフレットを作成するとともに、音声ガイドシステムを導入し、地域の観光スポットを紹介します。	上越市	(社)上越観光コンベンション協会
②観光関連事業者による外国人観光客へのおもてなしの充実	外国人観光客のニーズに応じて、テレビ視聴の外国語対応やIT環境の整備を検討します。	観光関連事業者	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①外国語が話せる観光ボランティアガイドの養成等	開業後も継続	養成講座内容検討・準備		養成講座の実施		
		観光パンフレット作成		観光パンフレット作成		
		導入準備	導入	音声ガイドシステム運用		
②観光関連事業者による外国人観光客へのおもてなしの充実	開業後も継続	検討				

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる

■その他

- ・旅行者がスムーズに観光できる
- ・来訪者へのおもてなしが提供できる

C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実

C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実

**取組方策
C1**

広域観光連携の推進

取組の目的

◆広域的な周遊・滞在型観光による交流人口の拡大を図るため、都市間の魅力的な観光資源を有機的に結びつけ、広域的に周遊できる観光ルートの設定やプロモーション活動を展開するなど、広域観光連携を推進します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①上越地域3市による広域観光連携の推進	上越地域3市による周遊・滞在ルートの創出や、広域観光マップの作成、連携イベントの開催、観光情報の相互発信などを実施します。	上越・糸魚川・妙高観光連携実行委員会	新潟県 上越市 糸魚川市 妙高市 (社)上越観光コンベンション協会
②北陸新幹線沿線都市との広域観光連携の推進	新幹線停車駅のある自治体との連携による広域的な周遊ルートの創出や、観光情報の相互発信、共同キャンペーンの実施により、周遊型観光客の誘客を図るとともに、隣県の空港を利用したインバウンドの活性化を図ります。	上越市	高岡市 富山市 長野市 高崎市 金沢市 上田市 黒部市 (社)上越観光コンベンション協会
③小木直江津航路を利用した上越・佐渡広域観光の確立	佐渡市及び上越市への誘客を促進するため、広域観光ルート開発によるツアー造成を促進するとともに、観光パンフレットの作成やキャラバン活動、メディア広告などへの掲載により、積極的なPR活動を実施します。また、バス及び自家用車を対象とした航送運賃の割引を実施します。	佐渡市・上越市観光・航路連絡協議会 航路事業者	新潟県 上越市 佐渡市 (社)上越観光コンベンション協会

スケジュール						
取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①上越地域3市 による広域観光連携の推進	開業後も継続		周遊・滞在ルート検討		周遊・滞在ルート設定	
				広域観光マップ作成		
				連携イベント実施		
				観光情報の相互発信		
②北陸新幹線沿線都市との広域観光連携の推進	開業後も継続	周遊ルート検討		周遊ルートPR		
		相互発信検討		情報発信		
		キャンペーン検討		キャンペーン実施		
③小木直江津航路を利用した上越・佐渡広域観光の確立	開業後も継続			ツアー造成の促進		
				観光パンフレット作成		
				キャラバン活動		
				メディア広告等への掲載		
				バス航空運賃・自家用車航空運賃の割引		

期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ■交流人口の増加 ■滞在時間をより長く提供する <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>広域的な交通拠点性を高める <input type="checkbox"/>地域の魅力を高める <input type="checkbox"/>ビジネスチャンスを高める ■地域の知名度や存在感を向上させる <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>その他

C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実

**取組方策
C2**

体験・滞在型観光の推進

取組の目的

◆体験・滞在型観光を推進するため、海から山まで広いエリアを持つ地域の自然と触れ合う機会や、地域の食文化を楽しんでもらう場を提供し、本物の体験や、滞在型の交流人口の拡大を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①越後田舎体験メニューの充実	中心市街地における体験型観光を導入するとともに、対象エリアを拡大し、新たな体験メニューを提供します。また、営業活動を強化するとともに、インストラクターのレベルアップ研修会や民泊受入家庭の増加を図るなど、受入体制を強化します。	越後田舎体験推進協議会	
②メディカルグリーンツーリズム構想	上越地域の自然や食文化を楽しんでもらいながら、あわせて健康管理やリフレッシュ体験、介護準備などの場を提供するメディカルグリーンツーリズム構想の実施に向けた検討を行います。	新潟県立看護大学	旅行代理店
③農業体験による交流の促進	農業を通じた誘客促進を図るため、首都圏の農業団体を対象とした補助制度の創設による支援を行い、農作業や酒造りなどの体験メニューを提供するとともに、地元農産物などをPRし、販売を促進します。	上越市	よしかわ杜氏の郷JA

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①越後田舎体験メニューの充実	開業前に準備	導入検討	中心市街地における体験型観光の導入			
		エリア拡大検討	新規メニュー試行	新規メニュー提供		
		営業活動・受入体制の強化				
②メディカルグリーンツーリズム構想	開業後も継続	モニターツアー実施	実施に向けた検討			
③農業体験による交流の促進	開業後も継続	補助制度創設準備	補助制度創設・補助金交付			
			体験メニュー提供・PR			

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
 - 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
 - ビジネスチャンスを高める
 - 地域の知名度や存在感を向上させる
 - その他

C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実

**取組方策
C3**

歴史や伝統を通じた誘客促進

取組の目的

◆歴史や伝統、文化をいかした各種イベントなどの開催を通じ、交流人口の拡大とともに、中心市街地の活性化を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①高田と直江津の中心市街地をいかした誘客促進	高田と直江津のまち歩き観光に資するコース設定を行い、中心市街地をいかした誘客促進を図ります。	上越市 地元団体等	(社)上越観光 コンベンション協会
②謙信公ゆかりの地振興事業の推進	謙信公と春日山城を中心とした企画展を開催するとともに、来訪者の受入体制を強化します。	謙信公の郷振興協議会 上越市	(社)上越観光 コンベンション協会 バス事業者
③日本一の雁木通りをいかした誘客促進	雪国高田・城下町のシンボルである雁木通りをいかしたイベントの開催のほか、町家でのおもてなし、朝市、寺町など「上越らしさ」を付加した取組を進めるとともに、辻標の設置やスタンプラリーを実施し、「日本一の雁木通り」を全国に向けて情報発信します。	越後高田雁木ねっとわーく (市民団体)など雁木や 町家をテーマとした 地域活動団体 (社)上越青年会議所	上越市

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①高田と直江津の中心市街地をいかした誘客促進	開業後も継続	コース設定・PR				
②謙信公ゆかりの地振興事業の推進	開業後も継続	企画展の開催				
		企画展の受入体制強化				
③日本一の雁木通りをいかした誘客促進	開業後も継続	イベント開催・情報発信				

期待される効果

■交流人口の増加

滞在時間をより長く提供する

広域的な交通拠点性を高める

■地域の魅力を高める

ビジネスチャンスを高める

■地域の知名度や存在感を向上させる

その他

C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実

**取組方策
C4**

森林環境をいかした誘客促進

取組の目的

◆地域の魅力である豊かな森林環境をいかしたイベントなどの開催を通じて、知名度向上と交流人口の増加を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①南葉高原森林レクリエーションの推進	「北陸新幹線に直結した森林癒しの空間」をテーマとした魅力あるイベントを開催するとともに、JRや旅行代理店との連携により積極的なPR活動を推進します。 また、上越(仮称)駅からの二次交通を確保し、来訪者の利便性向上を図ります。	上越市	JR 旅行代理店
②南葉高原キャンプ場の受入体制強化	老朽化している南葉高原キャンプ場の施設改修を図り、来訪者の受入体制を強化します。	上越市	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①南葉高原森林レクリエーションの推進	開業後も継続		誘客イベントの開催			
			広告・宣伝PR			
						二次交通の確保
②南葉高原キャンプ場の受入体制強化	開業前に準備		設計・トイレ改修 水洗化工事	施設内外装 改修工事		

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
 - 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
 - ビジネスチャンスを高める
 - 地域の知名度や存在感を向上させる
 - その他

C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実

**取組方策
C5**

文化財をいかした魅力創出

取組の目的

◆上越(仮称)駅周辺地区で発見された釜蓋遺跡の活用を図り、地域の文化財をいかした魅力を創出します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①釜蓋遺跡の整備	釜蓋遺跡の活用を図るため、発掘調査を進めるとともに、地域の歴史や文化を総合的に紹介するガイドンス施設や、古代を体験できるような歴史公園の整備を進めます。	上越市	
②広域歴史公園の活用	釜蓋遺跡、吹上遺跡、斐太遺跡(妙高市)の3つの遺跡を周遊できるルートを設定するとともに、案内マップを作成します。	上越市 妙高市	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後	
①釜蓋遺跡の整備	開業後も継続	用地取得					
		発掘調査					
		基本設計	実施設計	整備工事(開業時に一部供用開始)			
②広域歴史公園の活用	開業前に準備	整備計画		周遊ルート設定	案内マップ作製	周遊ルート増設検討・案内マップ改定・増刷	

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
 - 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
 - ビジネスチャンスを高める
 - 地域の知名度や存在感を向上させる
 - その他

取組の課題・留意点等

○釜蓋遺跡を積極的に公開し、広く周知を図るとともに、来訪者に分かりやすく遺跡を説明する必要がある。

C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実

**取組方策
C6**

魅力あるイベントや催し物への誘客促進

取組の目的

◆上越市へのより一層の誘客を進めるため、上越市を代表するイベントの魅力为全国に発信し、にぎわいの創出と観光客の増加を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①年間を通じたイベントへの誘客促進	春：高田城百万人観桜会、夏：はすまつり、謙信公祭、秋：越後・謙信SAKEまつり、城下町高田花ロード、冬：レルヒ祭などのイベントの魅力为全国に発信し、年間を通じて県外からの誘客促進を図ります。	(社)上越観光コンベンション協会 各種実行委員会	新潟県 上越市 上越商工会議所
②総合博物館及び小林古径記念美術館の開業記念イベントの開催	高田開府400年や小林古径生誕140年など、節目を迎える年にあわせて、新幹線開業記念イベントと位置付けて、特別展や企画展を開催するとともに、積極的なPR活動を行い、県外からの誘客促進を図ります。	上越市	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①年間を通じたイベントへの誘客促進	開業後も継続					
		イベント実施・情報発信				
②総合博物館及び小林古径記念美術館の開業記念イベントの開催	開業後も継続	博物館特別展の開催準備			特別展の開催 (開府400年記念)	
		古径特別展の開催準備	特別展の開催 (古径生誕130年記念)			

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
 - 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
 - ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
 - その他

取組の課題・留意点等

○上越(仮称)駅からイベント会場への二次交通を確保する必要がある。(例：上越(仮称)駅から臨時列車を増発することにより、首都圏向けにPRがしやすく、集客力も向上する)

C 何度でも訪れたい多彩な観光コンテンツの充実

**取組方策
C7**

多彩な観光メニューやルートづくり

取組の目的

◆地域の魅力ある観光資源をいかし、様々なニーズに応じた新たな観光メニューやルートづくりを推進し、上越市の知名度向上と交流人口の拡大を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①新たなツアー造成の促進	旅行代理店に対し、地域の観光資源をPRするとともに、様々なニーズに対応する観光メニューやルートを提案し、新たなツアー造成を促進します。	上越市 (社)上越観光 コンベンション協会	旅行代理店
②テーマ別観光モデルルートの提案	観光客のニーズに応じたテーマ別の観光モデルルートを提案します。	上越市	(社)上越観光 コンベンション協会

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①新たなツアー造成の促進	開業後も継続	観光メニューやルート提案				
②テーマ別観光モデルルートの提案	開業後も継続	観光モデルルート提案				

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
 - 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
 - ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
 - その他

取組の課題・留意点等

○ツアー造成の例：越後上越酒造めぐりツアー、日本海豪快釣りツアー、先人たちのゆかりの地を地元の語り部とめぐるツアー、高田のまち回遊ツアー等

D 上越市の食・ものづくりの力をいかした産業の活性化

**取組方策
D1**

内発型ものづくり産業の活性化

取組の目的

◆産学連携・産産連携によって上越ならではの地域資源をいかした新商品や技術開発を進め、ものづくり産業の活性化を図るとともに、新幹線での往来による交流人口の拡大を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①産学連携の推進	北陸新幹線沿線都市に所在する大学など研究機関の情報収集を行い、市内企業のニーズに応じた産学連携を支援し、市内産業の活性化を図ります。	上越市	市内企業 専門教育機関
②産産連携の推進	北陸新幹線沿線都市に所在するトップメーカーや、トップメーカー周辺の優良中小企業との連携による新商品や技術開発を促進します。	上越市	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①産学連携の推進	開業後も継続					
		情報収集・連携支援				
②産産連携の推進	開業後も継続					
		情報収集・連携支援				

期待される効果

■交流人口の増加

- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める

■地域の魅力を高める

■ビジネスチャンスを高める

- 地域の知名度や存在感を向上させる
- その他

D 上越市の食・ものづくりの力をいかした産業の活性化

**取組方策
D 2**

企業や事業所等の立地促進

取組の目的

◆新幹線が停車する都市、国際コンテナ航路を持つ直江津港、恵まれた高速道路網、北信越エリアの中心に位置するメリットをいかして、企業立地などによる雇用の場を創出し、地域経済の活性化を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①企業や事業所等の誘致	アンケート調査により企業の立地動向を探るとともに、パンフレットやチラシを作成し、上越市の優位性や優遇制度をPRしながら、首都圏や近隣県を中心に、製造業や運送業、営業所などの誘致活動をさらに積極的に推進します。	上越市	新潟県
②協力会社の誘致	市内企業における協力会社の立地に向け、アンケート調査による企業動向を把握するとともに、PR冊子を作成し、積極的に誘致活動を展開します。	上越商工会議所	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①企業や事業所等の誘致	開業後も継続	誘致活動				
		アンケート調査				
		パンフレット・チラシ作成				
②協力会社の誘致	開業後も継続	誘致活動				
		アンケート調査				
		PR冊子作成				

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める**
- ビジネスチャンスを高める**
- 地域の知名度や存在感を向上させる**
- その他

D 上越市の食・ものづくりの力をいかした産業の活性化

**取組方策
D 3**

市内企業における産業の活性化

取組の目的

◆市内企業の製品のPRや販路拡大を進めるとともに、人材確保や技術開発、市場開拓などを支援し、産業の活性化とともに上越の知名度の向上を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①市内企業における産業の活性化	上越市を拠点とする市内企業の魅力を広くPRするため、各企業の視察や見学受入体制をさらに充実するよう検討するとともに、上越(仮称)駅構内での企業及び製品のPRや上越地域特産の土産用物産品(清酒、米菓、味噌、醤油等)の販売を促進します。	上越市	(社)上越観光コンベンション協会 市内企業
②新幹線開業によるビジネスチャンスの創出	新幹線開業によるビジネス展開を図るため、定期的にセミナーを開催し、ビジネスチャンスをアピールします。	上越商工会議所	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①市内企業における産業の活性化	開業後も継続	受入体制の充実検討				
		企業・製品のPR、土産用物産品の販売促進				
②新幹線開業によるビジネスチャンスの創出	開業前に準備	定期セミナーの開催				

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める**
- ビジネスチャンスを高める**
- 地域の知名度や存在感を向上させる**
- その他

D 上越市の食・ものづくりの力をいかした産業の活性化

**取組方策
D 4**

食をいかした新たな特産品等の創出

取組の目的

◆海の幸・山の幸をいかした新たな特産品や駅弁、料理などを開発し、地域の魅力を創出します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①米粉を使用したオリジナル中華麺の開発	上越市産の米粉を使用したオリジナル中華麺(米粉麺)を開発するとともに、普及促進キャンペーンや提供飲食店の拡大を図り、販売を促進します。	新潟県麺類飲食業生活衛生同業組合高田支部・直江津支部	上越市 民間企業
②上越野菜をいかした郷土料理等の開発	上越野菜を使用した郷土料理などを開発するとともに、一流料理人などによる料理教室を開催し、地元飲食店や旅館などによる郷土料理の提供を促進します。	「上越野菜」振興協議会	上越市
③ご当地グルメコンテストの開催	地元食材をいかした料理コンテストを開催し、選ばれし料理をご当地グルメと認定します。また、地元飲食店などでの提供を促進するとともに、広く地域内外へPRし、普及促進を図ります。	上越の食を育む会(上越食育協議会) 上越の食を考える会	上越市

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①米粉を使用したオリジナル中華麺の開発	開業前に準備	米粉麺試作・評価	米粉麺開発・製造			
		米粉麺普及促進キャンペーン・提供飲食店の拡大				
②上越野菜をいかした郷土料理等の開発	開業前に準備	郷土料理等の開発				
		料理教室の開催				
③ご当地グルメコンテストの開催	開業前に準備	コンテスト開催・ご当地グルメ認定				
				提供飲食店の拡大・PR活動		

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める**
- ビジネスチャンスを高める**
- 地域の知名度や存在感を向上させる**
- その他

E 多様なライフスタイルが可能な上越暮らしの促進

E 多様なライフスタイルが可能な上越暮らしの促進

**取組方策
E 1**

積極的な情報提供による定住促進

取組の目的

◆上越市の魅力とともに、時間短縮効果や地理的優位性など、新幹線が停車する都市を売りにした積極的な情報提供やPR活動を通じて、上越市への定住を促進します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①定住に関するワンストップ対応の推進	上越市ふるさと暮らし支援センターにおいて、ワンストップで定住に関する相談対応を行うとともに、上越市の暮らしに関する情報提供や、中長期滞在施設、体験プログラムの紹介などのPR活動を積極的に推進します。	上越市	新潟県

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①定住に関するワンストップ対応の推進	開業後も継続	相談対応や情報提供・PR活動				

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる**
- その他**
 - ・定住促進が図られる

F 高速交通基盤をいかした拠点性の強化

取組方策
F 1

地域医療体制の充実

取組の目的

◆新幹線の利用による移動時間の短縮効果をいかし、大都市圏から積極的に医師を招へいして医療体制の充実を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①地域医療体制の充実	首都圏や北陸圏に医師の招へい活動を展開します。 また、各地で開催される研究会などの参加が容易になることで、医師の技術能力を高め、提供する医療水準の向上を図ります。	医療機関	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①地域医療体制の充実	開業後も継続	招へい活動				
						研究会等への参加

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる

■その他

- ・医療水準の向上が期待できる

F 高速交通基盤をいかした拠点性の強化

**取組方策
F 2**

教育体制の充実

取組の目的

◆新幹線開業のメリットをいかし、教育機関や研究機関などの立地による教育体制の充実に
を図るとともに、教育をテーマとした人的交流の促進を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①教育機関や研究機関等の誘致	新幹線開業のメリットをいかし、大学(院)や大学サテライト、短期大学、専門学校などの教育機関や、研究機関などを積極的に誘致します。	上越市	
②教育をテーマとした人的交流の促進	上越市を会場とする教育関係の学会や研究会などを誘致するとともに、北陸新幹線沿線都市の教育・研究機関との交流・連携による高度で先進的な研究を推進します。	教育関係団体	上越市 (社)上越観光 コンベンション協会 旅行代理店
③教育関係者をターゲットとした交流促進	多彩なプログラムにより開催している教育フォーラムを開業記念行事として開催するとともに、全国各地から教育関係者が来訪するよう、積極的なPR活動を実施します。	上越市	上越教育大学 日本教育 新聞社

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後	
①教育機関や研究機関等の誘致	開業後も継続						
		誘致活動					
②教育をテーマとした人的交流の促進	開業後も継続						
		誘致活動					
		教育・研究機関との交流・連携					
③教育関係者をターゲットとした交流促進	開業後も継続						
		教育フォーラムの開催(通常開催)					(開業記念)

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
 - 広域的な交通拠点性を高める
 - 地域の魅力を高める
 - ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
 - その他

F 高速交通基盤をいかした拠点性の強化

**取組方策
F 3**

コンベンションの誘致

取組の目的

◆各種コンベンションを積極的に誘致するとともに、アフターコンベンション情報を提供し、地域のにぎわい創出と交流人口の拡大を目指します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①コンベンションの誘致	学会や総会、会議、見本市、展示会など、市内でのコンベンション開催を積極的に誘致するとともに、宿泊先や観光スポット、土産品などのアフターコンベンション情報を提供します。	(社)上越観光コンベンション協会	上越市

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①コンベンションの誘致	開業後も継続	誘致活動・アフター情報の提供				

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
 - 広域的な交通拠点性を高める
 - 地域の魅力を高める
 - ビジネスチャンスを高める
 - 地域の知名度や存在感を向上させる
 - その他

取組の課題・留意点等

○積極的な誘致を図るためには、公共施設使用料の減免やコンベンション補助金制度を検討するなど、主催者側に対して財政的な支援を検討する必要がある。

取組方策
F 4

地理的優位性をいかしたスポーツ交流の促進

取組の目的

◆北陸新幹線沿線都市との連携によるスポーツ交流や、地域の特産品に関連付けたスポーツ交流を推進し、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①北信越エリアにおける各種大会の積極的誘致	北信越の中心に位置する上越市の地理的優位性をいかし、北信越エリアで開催される各種大会や学生などのスポーツ合宿を積極的に誘致します。	市内スポーツ団体	上越市 (社)上越観光コンベンション協会 観光関連事業者 交通事業者
②北陸新幹線沿線都市との連携によるスポーツ交流	北陸新幹線沿線都市との連携による新幹線駅間フルマラソン大会の開催を検討します。	市内スポーツ団体	上越市
③地域の特産品に関連付けたスポーツ交流	地域の特産品に関連付けたスポーツ大会を開催するとともに、市外各地から参加できるよう積極的なPR活動を展開します。	上越市	(社)上越観光コンベンション協会
④スポーツ施設の充実	恒常的に大きな大会が開催できるよう、市内スポーツ施設の充実を図ります。	上越市	

スケジュール							
取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後	
①北信越エリア における各種 大会の積極的 誘致	開業後 も継続						
		誘致活動					
②北陸新幹線沿 線都市との連 携によるスポ ーツ交流	開業後 も継続						
		検討					
③地域の特産品 に関連付けた スポーツ交流	開業後 も継続						
		スポーツ大会の開催					
		PR活動					
④スポーツ施設 の充実	開業前 に準備						
		スポーツ施設の充実					

期待される効果
<p>■交流人口の増加</p> <p><input type="checkbox"/>滞在時間をより長く提供する</p> <p><input type="checkbox"/>広域的な交通拠点性を高める</p> <p><input type="checkbox"/>地域の魅力を高める</p> <p><input type="checkbox"/>ビジネスチャンスを高める</p> <p>■地域の知名度や存在感を向上させる</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>

取組の課題・留意点等
<p>○北信越エリアの大会を誘致するためには、県内スポーツ団体の理解と協力が不可欠である。</p> <p>○上越(仮称)駅から大会会場への二次交通を確保する必要がある。(スポーツ競技には用具の運搬が不可欠なため)</p>

G 選ばれる上越市の魅力発信による知名度の向上

G 選ばれる上越市の魅力発信による知名度の向上

**取組方策
G1**

新幹線開業PRによる地域の機運醸成

取組の目的

◆多様なアイテムを活用した新幹線の開業PRを展開し、地域全体で新幹線の開業歓迎ムードを高めます。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①新幹線開業PR	統一スローガンを活用した開業PR用のパンフレットやポスター、のぼり旗など、様々なアイテムを作成し、開業PRを実施します。	上越市 上越商工会議所	(社)上越青年 会議所 交通事業者
②新駅見学ツアーの開催	市民を対象とした上越(仮称)駅の見学ツアーを実施します。	上越商工会議所	鉄道・運輸機構 上越市

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①新幹線開業PR	イベント	開業PR用アイテム作成				
②新駅見学ツアーの開催	イベント	新駅見学ツアーの開催				

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
- その他
 - ・地域の機運が醸成される

取組方策
G2

開業記念イベントの実施

取組の目的

◆新幹線の開業記念イベントを実施し、地域全体で開業歓迎ムードを高めるとともに、地域の特産品などの魅力を発信します。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①開業記念イベントの実施	新幹線の開業を記念して、開業前、開業時、開業後の3段階で開業記念イベントを開催するとともに、JRや各地で開催されるイベントなどと連携し効果的な誘客キャンペーンを実施します。 また、観光パンフレットや地域限定の特産品、土産品などで様々な魅力を同時に発信します。	上越市 (社)上越観光コンベンション協会 市内企業 各種団体等	(社)上越青年会議所
②開業記念誌の作成	上越(仮称)駅開業までの歩みや開業記念イベントなどの軌跡を残す「開業記念誌」を作成します。	上越市	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後	
①開業記念イベントの実施	イベント	開業イベント企画・準備					
			プレイベント開催				
					開業時イベント開催		アフターイベント開催
②開業記念誌の作成	イベント			記念誌作成準備	記念誌作成		

期待される効果

■交流人口の増加

- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める

■地域の知名度や存在感を向上させる

■その他

- ・地域の機運が醸成される

取組の課題・留意点等

○開業記念イベントの実施にあたっては、上越市のPRマスコットである「上越忠義隊けんけんず」を活用することでにぎわいをさらに高める必要がある。

取組方策
G3

多様なツールをいかした地域の魅力発信

取組の目的

◆多様なツールを活用して、地域の魅力を効果的に発信し、上越市への誘客促進を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①インターネットによる情報発信	新幹線開業記念イベントや誘客キャンペーンなど新幹線の開業に向けた取組を紹介するウェブサイトを開設するとともに、観光などの地域の情報サイトと相互リンクを図ります。	上越市 上越商工会議所	
②マスメディアを活用した情報発信	テレビのCMやラジオ、新聞、タウン情報誌などを活用し、新幹線開業記念イベントをはじめとする各種イベントや地域の特産品などの情報を発信します。	上越市 上越商工会議所 (社)上越観光 コンベンション協会	
③キャラバン活動の展開	マスコミなどへのキャラバン活動を幅広く展開し、首都圏や関西圏などでの効果的なキャンペーンを実施します。	上越市 上越商工会議所 (社)上越観光 コンベンション協会	
④物産展等による情報発信	姉妹都市や首都圏、関西などで物産展を開催するとともに、新潟館ネスパスでのイベントを活用し、地域の特産品などを積極的にPRします。	上越市 (社)上越観光 コンベンション協会	新潟県
⑤人脈をいかした情報発信	ふるさと上越ネットワークや東京新潟県人会など、人脈をいかした情報発信を行います。	上越市	(社)上越観光 コンベンション協会

スケジュール							
取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後	
①インターネットによる情報発信	開業前に準備						
		HP開設準備	HP開設・運営(随時、情報更新)				
②マスメディアを活用した情報発信	開業後も継続						
			CMや新聞、雑誌等掲載				
③キャラバン活動の展開	開業後も継続						
			キャラバン活動				
④物産展等による情報発信	開業後も継続						
			物産展の開催				
			ネスパスでの特産品等PR				
⑤人脈をいかした情報発信	開業後も継続						
			情報発信				

期待される効果
<input type="checkbox"/> 交流人口の増加
<input type="checkbox"/> 滞在時間をより長く提供する
<input type="checkbox"/> 広域的な交通拠点性を高める
<input type="checkbox"/> 地域の魅力を高める
<input type="checkbox"/> ビジネスチャンスを高める
<input checked="" type="checkbox"/> 地域の知名度や存在感を向上させる
<input type="checkbox"/> その他

取組方策
G 4

新幹線駅名等の検討を通じた知名度向上

取組の目的

◆新幹線新駅や新幹線に関連する名称の検討を通じて全国に情報発信し、新幹線が開業するという地域の機運醸成を図るとともに、上越市の知名度向上を図ります。

取組の概要

取組名	取組内容	実施主体	連携団体等
①新幹線駅名等の検討	仮称扱いとなっている上越駅の名称について、誰もが分かりやすく愛着が持てる駅名を前提に、広く意見を聞きながら、名称候補を決定しJRへ要望します。 また、新たに走行する新幹線の愛称など新幹線関連名称や、並行在来線関連名称、市公共施設関連名称についても検討します。	上越市	

スケジュール

取組名	取組期間	23年度	24年度	25年度	26年度 (開業年度)	開業後
①新幹線駅名等の検討	開業前に準備	駅名等の検討		JRへ要望		

期待される効果

- 交流人口の増加
- 滞在時間をより長く提供する
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる**
- その他

第4章

行動計画の推進

第4章 行動計画の推進

1 行動計画の効果的な推進

新幹線開業のチャンスをいかすには、日々変化する社会情勢に柔軟に対応しながら、行動計画の着実な推進を図る必要があることから、実施主体で構成される『上越市新幹線まちづくり推進連携会議』を設立し、実施主体間で情報の共有を図り、十分に連携・協力しながら行動計画を推進します。

(1) 多様な主体の参加と連携

行政だけでなく、民間企業やボランティア団体、NPO、大学等の教育機関、病院等の医療機関などの多様な団体や個人の自主的な参加と連携により行動計画を推進します。

(2) 効率的・重点的な取組の実施

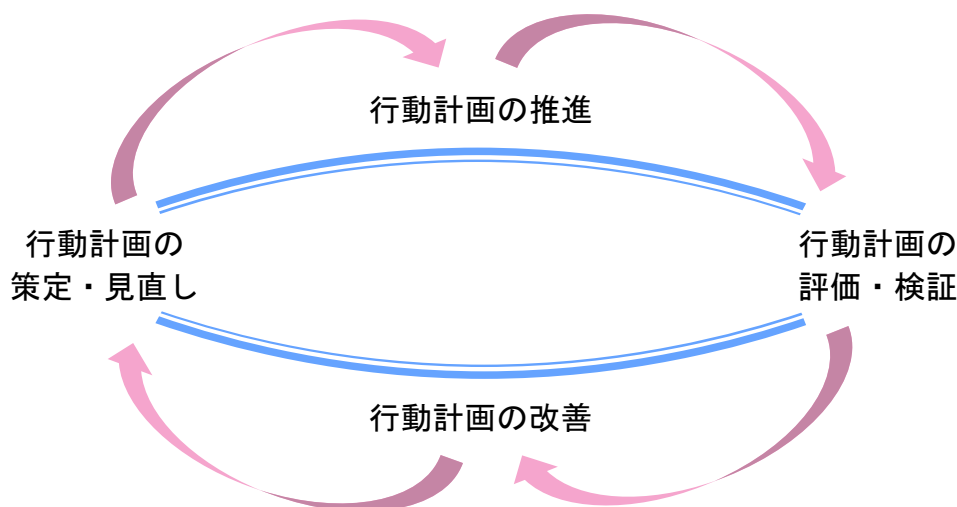
厳しい財政状況が続く中、新幹線開業に向けて着実に行動計画を推進するため、取組の実施主体が連携・協力しながら、効率的かつ重点的に取組を実施するものとします。

(3) 計画の進捗管理

『上越市新幹線まちづくり推進連携会議』では、行動計画の実効性を高めるため、社会情勢の変化や地域の実情などを踏まえ、毎年度、行動計画の進捗状況を評価・検証しながら、課題解決に向けて十分に検討・協議を行います。

その結果を踏まえて、行動計画の見直しを行い、新幹線の開業効果を地域全体に波及させるために、より一層の推進を図ります。

行動計画の推進にあたっては、取組の輪が地域全体に広がるよう、必要に応じて、その他関係団体などとも十分に連携を図っていきます。



【図4-1 推進のイメージ】

(1) 目的

北陸新幹線の開業がもたらす様々な効果をいかしたまちづくりを推進するため、上越市新幹線まちづくり推進連携会議を設立し、行動計画を推進するとともに、評価・検証を行い、行動計画の見直しや実施主体間の連絡調整などを円滑に行うことにより、新幹線開業に向けたまちづくりを総合的かつ計画的に実施することを目的とします。

(2) 所掌事項

- 行動計画の推進及び評価・検証・見直し
- 行動計画に登載する取組の実施主体間の連絡調整
- その他、目的を達成するために必要な事項

(3) 構成団体

- 行政機関
- 商工観光団体
- 交通事業者
- 農業関係団体
- 教育関係団体
- 医療関係機関
- スポーツ団体
- その他団体

参考資料



資料1 上越地域を取り巻く状況

※この資料は、北陸新幹線長野・糸魚川間フル規格整備推進上越広域協議会、新潟県上越地域振興局、糸魚川地域振興局が作成した『北陸新幹線を活かした地域振興策のあり方策定業務報告書』（平成18年3月）を時点修正したものです。

(1) 人口

上越地域では平成17年に市町村合併が行われ、従来の22市町村から上越市、糸魚川市、妙高市の3市となりました。現在、上越地域の人口は約28万7千人、世帯数は約10万1千世帯です。上越地域の市別人口シェアは、上越市が約71%、糸魚川市が約17%、妙高市が約12%となっています。新潟県人口は約237万5千人であり、県内における上越地域のシェアは約12%を占めています。(表①、表②)

平成17年10月1日から平成22年10月1日までの5年間で、3市とも人口は減少しており、上越地域計では約8千7百人(約3.0%)減少しています。同期間、新潟県人口では約2.3%の減少であり、上越地域は比較的減少率が大きくなっています。(表②)

【表① 市町村合併の状況】

現市	合併前市町村	合併年月日
上越市	上越市、安塚町、浦川原村、大島村、牧村、柿崎町、大潟町、頸城村、吉川町、中郷村、板倉町、清里村、三和村、名立町(14市町村)	平成17年(2005年)1月1日
糸魚川市	糸魚川市、能生町、青海町(3市町)	平成17年(2005年)3月19日
妙高市	新井市、妙高高原町、妙高村(3市町村)	平成17年(2005年)4月1日

※旧松代町及び旧松之山町は、平成17年(2005年)4月1日に十日町市と合併。

【表② 上越地域の人口】

指標		上越市	糸魚川市	妙高市	計
人口(人) 平成22年	※1	203,869	47,698	35,459	287,026
世帯数(世帯) 平成22年	※1	71,449	17,430	11,803	100,682
平均世帯人員(人/世帯) 平成22年		2.85	2.74	3.00	2.85
面積(k㎡) 平成22年	※2	973.6	746.2	445.5	2,165.4
人口密度(人/k㎡) 平成22年		209.4	63.9	79.6	132.6
人口(人) 平成17年	※3	208,082	49,844	37,831	295,757
5年間の人口増減率(%) 平成17~22年		▲2.0	▲4.3	▲6.3	▲3.0

資料：※1 総務省統計局『国勢調査(速報値)』平成22年

※2 国土交通省国土地理院『全国都道府県市区町村別面積調』平成22年

※3 総務省統計局『国勢調査』平成17年

(2) 産業

産業面でみると、製造品出荷額は9,535億円、小売り販売額は3,141億円、農業産出額は258億円となっています。就業人口比率は、第一次産業は7.2～10.1%、第二次産業は32.1～37.3%、第三次産業は54.2%～60.2%となっています。(表③)

米作を中心とする農業、化学・電子・機械・金属・窯業などの製造業、観光関連業などが地域経済を支えています。観光は温泉、スキーを主要観光資源として年間約1,372万人の観光客があります。(表③)

【表③ 上越地域の主要社会経済指標】

指標	上越市	糸魚川市	妙高市	計
第一次産業就業人口比率(%) 平成17年 ※1	7.2	8.5	10.1	—
第二次産業就業人口比率(%) 平成17年 ※1	32.1	37.3	34.7	—
第三次産業就業人口比率(%) 平成17年 ※1	60.2	54.2	54.7	—
農業産出額(億円) 平成18年 ※2	197	28	33	258
製造品出荷額(億円) 平成20年 ※3 上位3業種	5,952	1,278	2,305	9,535
	①化学 22.9%	①化学 56.2%	①電子・デバイス 82.4%	—
	②非鉄金属 11.9%	②窯業 13.3%	②電子機械 0.9%	—
	③鉄鋼業 11.8%	③はん用機械 5.6%	③食料品 0.9%	—
小売り販売額(億円) 平成19年 ※4	2,384	430	327	3,141
観光客数(人) 平成21年度 ※5	8,880,530	1,832,040	3,005,160	13,717,730

資料：※1 総務省統計局『国勢調査』平成17年
 ※2 農林水産省『生産農業所得』平成18年
 ※3 経済産業省『工業統計調査』平成20年
 ※4 経済産業省『商業統計調査』平成19年
 ※5 新潟県『平成21年度新潟県観光動向の概要』平成22年

(3) 観光

上越地域では、平成 21 年度に約 1,372 万人の観光客がありました。新潟県計では約 7,498 万人であったので、県全体の約 18%を上越地域が占めます(人口比 12%に比して観光客数は多くなっています)。(図①)

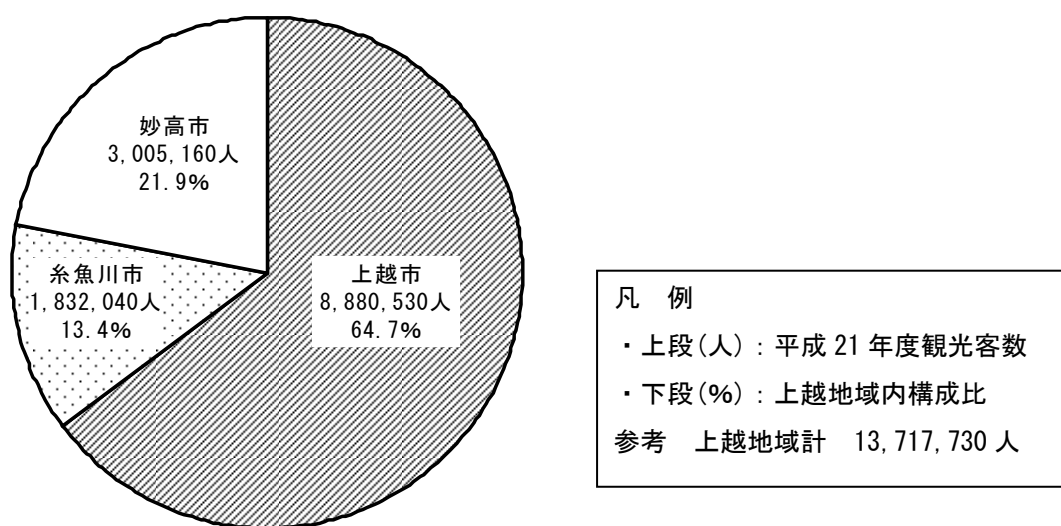
内訳は、上越市約 888 万人(64.7%)、妙高市約 301 万人(21.9%)、糸魚川市約 183 万人(13.4%)の順であり、妙高市が人口シェア(12.4%)に比して、多くの観光客を集めています。(図①)

観光施設別にみると、3市共通資源の温泉(13.0%)、上越市などのまつり・イベント(22.3%)、妙高市などのスキー(7.3%)、糸魚川市などの産業観光(12.0%)が多くの観光客を集めています。(図③)

観光客方面別にみると、県内(50.8%)、中部(19.1%)、関東(17.0%)、北陸(7.3%)、近畿(3.7%)の順です。まつり・イベント・温泉・文化観光を中心とする上越市では県内客の比率が高く(54.0%)、スキー・温泉を中心とする妙高市では県内客の比率が低く(44.7%)、産業観光・温泉を中心とする糸魚川市も若干県内客割合が低くなっています(45.5%)。(図④)

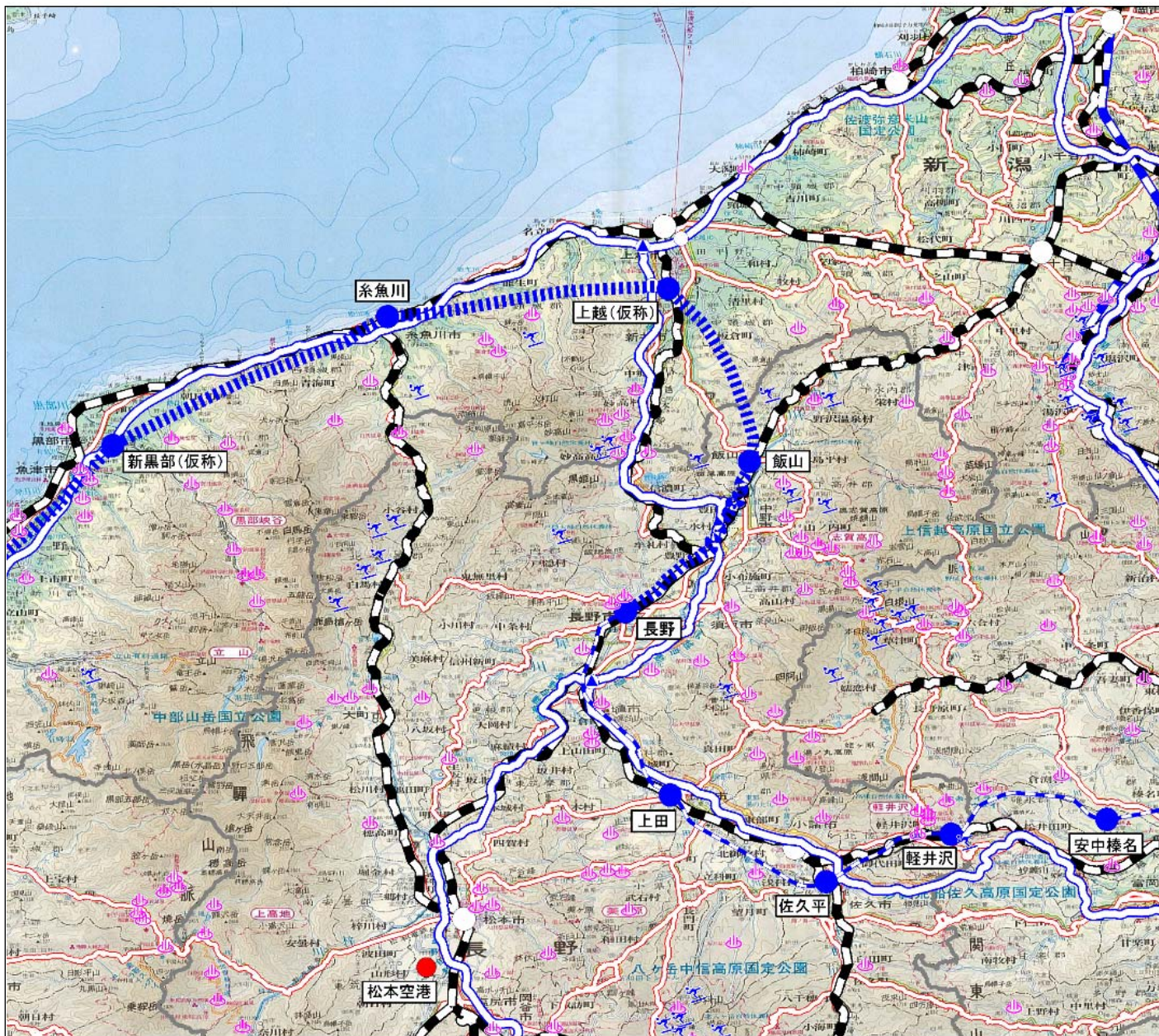
外国人観光客は上越地域計で年間 23,020 人(0.2%)と極めて少なくなっています。ちなみに、新潟県計では外国人観光客は約 20 万 6 千人(県計の 0.3%)です。(図④)

季節別にみると、上越市は春夏特化型、糸魚川市は夏特化型、妙高市は冬型になっています。上越地域計でみると、若干夏が多いものの、四季バランス型の季節変動になっています。(図⑤)











資料 : 新潟県『平成 21 年度新潟県観光動向の概要』平成 22 年

【図①】 上越地域の観光客数



凡例

-  新幹線(主要駅)
-  JR在来線(主要駅)
-  北陸新幹線(未供用区間)
-  空港
-  高速道路
-  国道
-  温泉
-  スキー場

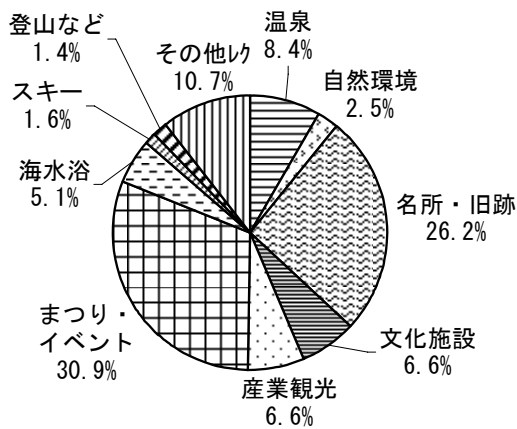
資料：各市観光パンフレット

【図②】 上越地域及びその周辺の温泉・スキー場分布

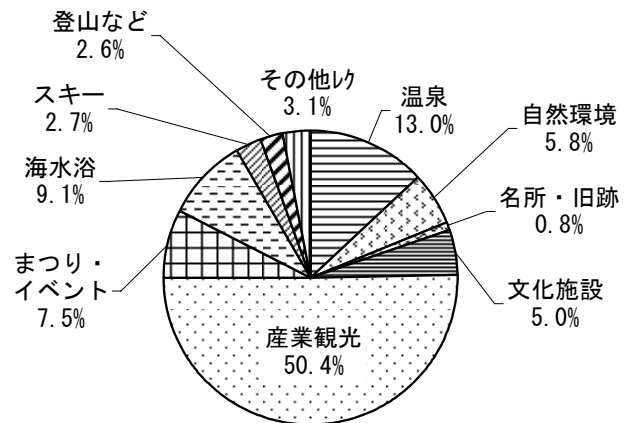
単位：人

自治体	温泉	自然環境	名所・旧跡	文化施設	産業観光	まつり・イベント	海水浴	スキー	登山等	その他	合計
上越市	741,980	222,560	2,328,500	587,740	584,300	2,747,470	450,370	142,260	126,490	948,860	8,880,530
糸魚川市	238,030	107,060	14,080	91,520	923,260	137,350	167,460	49,190	48,140	55,950	1,832,040
妙高市	797,800	540,500	9,810	7,670	136,270	168,370	0	814,710	248,510	281,520	3,005,160
上越地域計	1,777,810	870,120	2,352,390	686,930	1,643,830	3,053,190	617,830	1,006,160	423,140	1,286,330	13,717,730

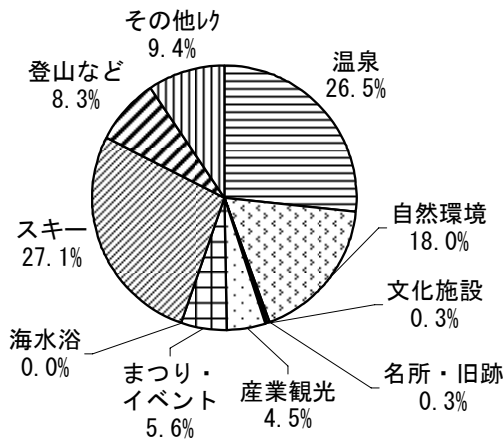
上越市



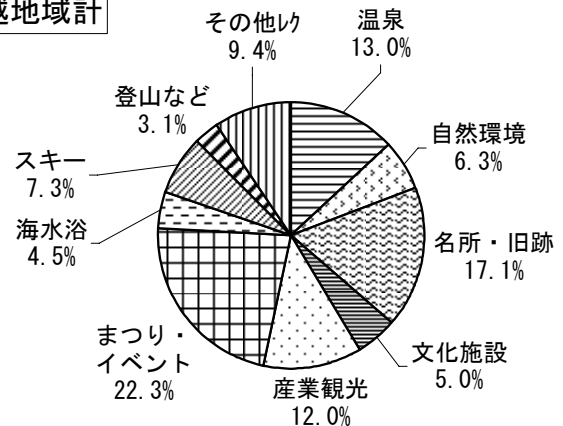
糸魚川市



妙高市



上越地域計



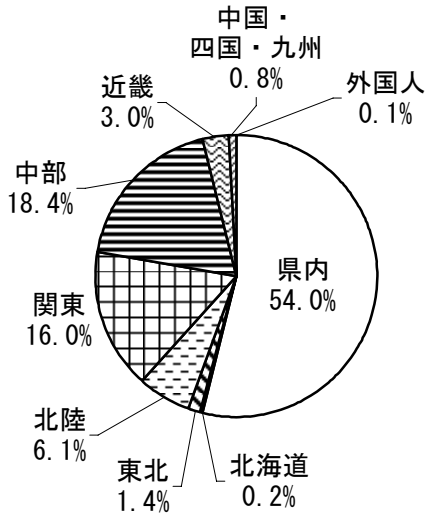
資料：新潟県『平成 21 年度新潟県観光動向の概要』平成 22 年

【図③ 施設別観光客数(平成 21 年度)】

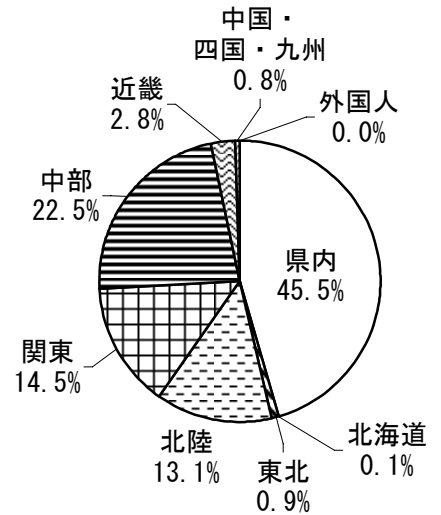
単位：人

自治体	県内	県外								合計
		北海道	東北	北陸	関東	中部	近畿	中国・四国・九州	外国人	
上越市	4,795,080	22,180	125,540	539,160	1,422,310	1,630,520	263,730	71,720	10,290	8,880,530
糸魚川市	833,550	1,700	15,700	240,770	266,410	412,640	50,400	10,120	750	1,832,040
妙高市	1,342,730	2,350	13,740	219,990	637,120	575,100	191,190	10,960	11,980	3,005,160
上越地域計	6,971,360	26,230	154,980	999,920	2,325,840	2,618,260	505,320	92,800	23,020	13,717,730

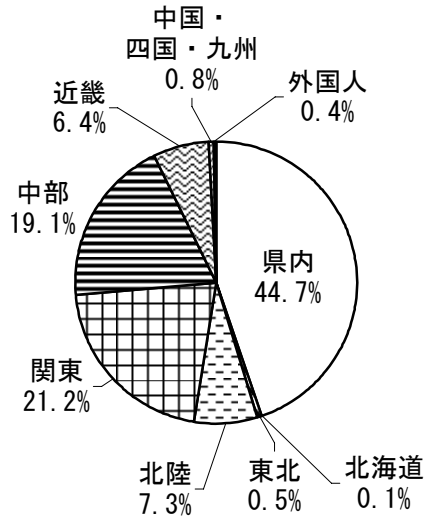
上越市



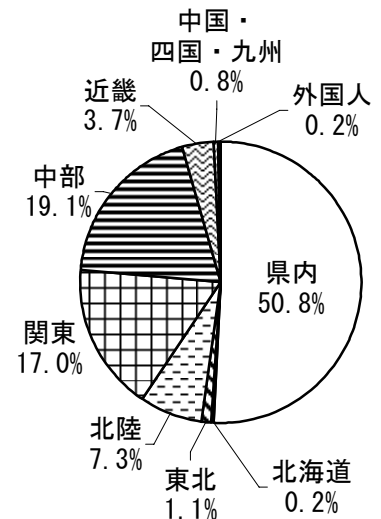
糸魚川市



妙高市



上越地域計



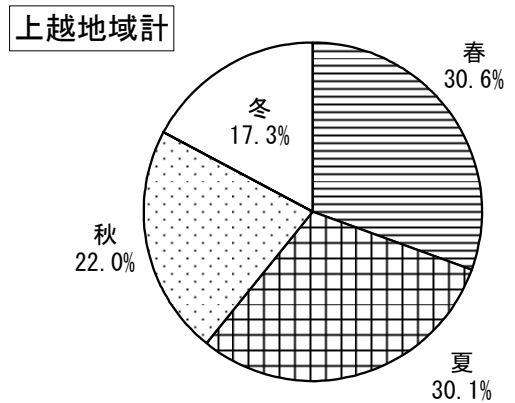
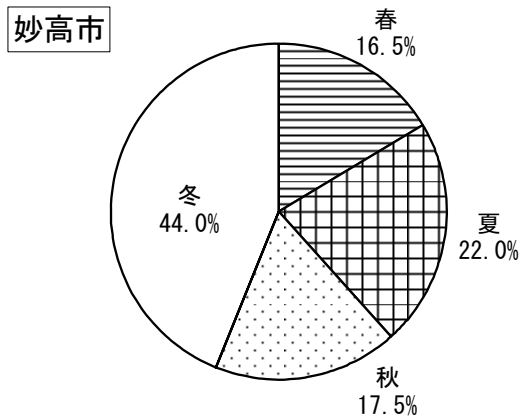
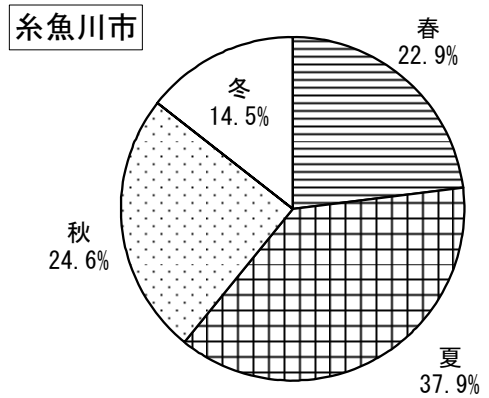
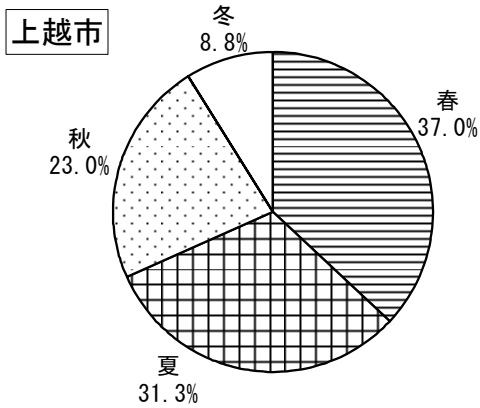
資料：新潟県『平成 21 年度新潟県観光動向の概要』平成 22 年

【図④ 方面別観光客数(平成 21 年度)】

単位：人

自治体	春				夏		
	4月	5月	6月	小計	7月	8月	小計
上越市	1,788,370	858,190	638,690	3,285,250	1,072,890	1,704,270	2,777,160
糸魚川市	108,420	210,130	101,890	420,440	216,390	477,790	694,180
妙高市	113,380	204,310	176,660	494,350	248,630	412,400	661,030
合計	2,010,170	1,272,630	917,240	4,200,040	1,537,910	2,594,460	4,132,370

自治体	秋				冬					合計
	9月	10月	11月	小計	12月	1月	2月	3月	小計	
上越市	755,440	771,510	512,790	2,039,740	194,920	161,760	213,600	208,100	778,380	8,880,530
糸魚川市	190,330	155,300	105,500	451,130	54,900	76,970	56,050	78,370	266,290	1,832,040
妙高市	214,940	197,420	115,030	527,390	176,460	394,940	449,760	301,230	1,322,390	3,005,160
合計	1,160,710	1,124,230	733,320	3,018,260	426,280	633,670	719,410	587,700	2,367,060	13,717,730



資料：新潟県『平成21年度新潟県観光動向の概要』平成22年

【図⑤ 季節別観光客数(平成21年度)】

【参考 上越地域の主なまつり・イベント】

	上越市	糸魚川市	妙高市	計
4月	・高田城百万人観桜会 ・大池いこいの森さくら祭り	・糸魚川けんか祭り ・能生白山神社春季大祭		4
5月			・艸原祭	1
6月	・大湯まつり ・お引き上げ商工まつり			2
春計	4	2	1	7
7月	・上越まつり	・おうみ祭り	・関山神社火祭	3
8月	・名立まつり ・謙信公祭 ・上越はずまつり ・きよさと夏祭り ・なかごう夏まつり	・糸魚川おまんた祭り ・のう奴奈川まつり	・あらいまつり	8
夏計	6	3	2	11
9月		・根知山寺の延年 ・日本海クラシックカーレビュー	・岡倉天心忌	3
10月	・越後よしかわ酒まつり			1
11月			・報恩講「おたや」	1
秋計	1	2	2	5
12月				0
1月		・竹のからかい		1
2月	・レルヒ祭			1
3月				0
冬計	1	1	0	2

(4) 北陸新幹線沿線都市との比較

上越地域の特性を浮き彫りにするために、北陸新幹線の駅が設置済み、または設置予定の他県、他都市と比較した結果を示します。

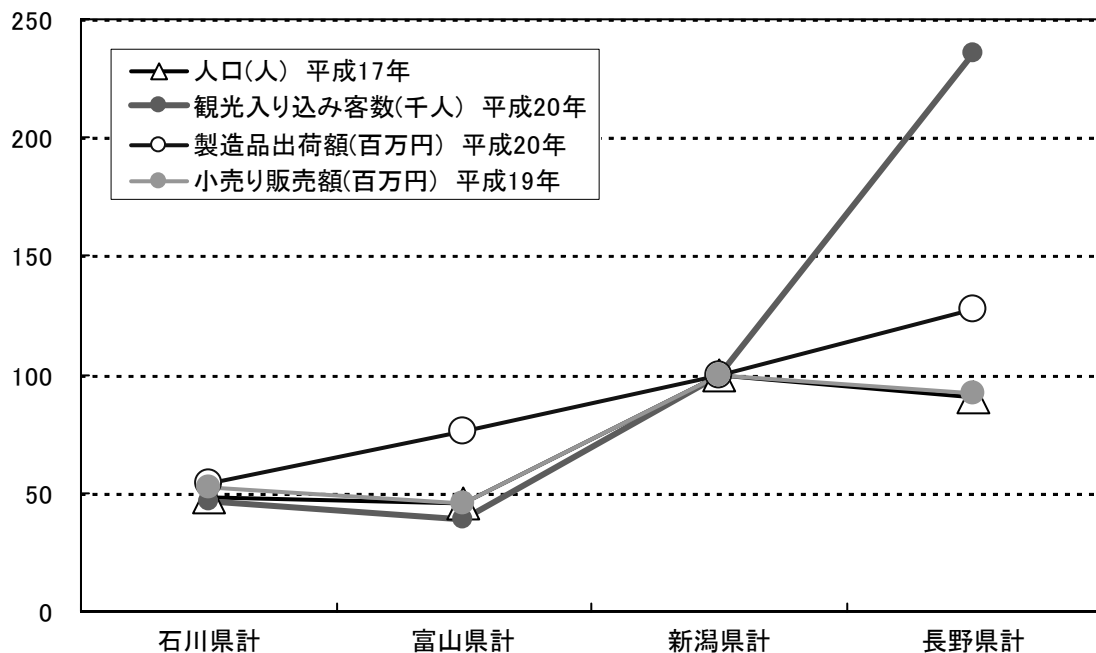
(4 県比較)

4 県を比較すると、新潟県の人口が最も多いものの、県外からの観光入り込み客数と製造品出荷額では人口や面積がほぼ同程度の長野県に劣っています。しかし、富山県や石川県よりも経済規模は大きく、概ね 2 倍程度の水準にあります。(図⑥)

	石川県計	富山県計	新潟県計	長野県計
人口(人) 平成 17 年 ※ 1	1, 174, 026	1, 111, 729	2, 431, 459	2, 196, 114
面積(k m ²) 平成 17 年 ※ 2	4, 185. 5	4, 247. 3	12, 582. 6	13, 562. 2
人口密度(人/k m ²) 平成 17 年	280. 5	261. 7	193. 2	161. 9
昼間人口(人) 平成 17 年	1, 177, 115	1, 107, 974	2, 428, 268	2, 192, 533
昼夜間人口比率(%) 平成 17 年	100. 3	99. 7	99. 9	99. 8
5 年間の人口増減率(%) 平成 12~17 年 ※ 1	▲ 0. 5	▲ 1. 0	▲ 2. 3	0. 1
観光入り込み客数(千人) 平成 20 年 ※ 3	11, 290	9, 435	24, 150	56, 831
製造品出荷額(百万円) 平成 20 年 ※ 4	28, 126	39, 294	51, 954	66, 240
小売り販売額(百万円) 平成 19 年 ※ 5	13, 394	11, 754	25, 767	23, 736

資料：※ 1 総務省統計局『国勢調査』平成 17 年
 ※ 2 国土交通省国土地理院『全国都道府県市区町村別面積調』平成 17 年
 ※ 3 各県『観光統計』平成 20 年
 ※ 4 経済産業省『工業統計調査』平成 20 年
 ※ 5 経済産業省『商業統計調査』平成 19 年

〈新潟県を 100 とした場合の主要社会経済指標比較〉



【図⑥】 主要社会経済指標の 4 県比較】

(沿線都市比較)

都市レベルで社会経済的な集積力を比較してみると、総合的にみて、上越地域(上越市、糸魚川市、妙高市)は、金沢市、富山市、長野市に次いで4番目に位置することがわかります。しかし、これらの3市の人口規模や小売り販売額は、上越地域の約1.3倍～1.9倍に達します。上越市単独でみると、これら3市の水準は、概ね1.8倍～2.5倍程度の水準に該当します。(図⑦)

小売り販売額は、金沢市、富山市、長野市が上越地域の1.8倍以上の集積があります。これらの都市は県庁所在都市であり、人口規模に比して、昼間人口や商圏人口が多いことを示しています。(図⑦)

製造品出荷額は、富山市が特化して高く、上越地域の約1.4倍の水準にあります。金沢市や長野市は上越地域計よりかなり低い5割の集積にあります。(図⑦)

観光入り込み客数(県外客、県内客合計)は、人口規模に比して、軽井沢町が特化して高いこと、上越地域もかなり高い水準にあることがわかります。(図⑦)

都市の特徴を総括すれば、富山市は製造業と商業、金沢市と長野市は商業に特化した類似したパターンであり、上越地域は製造業と観光に特化していることがわかります。

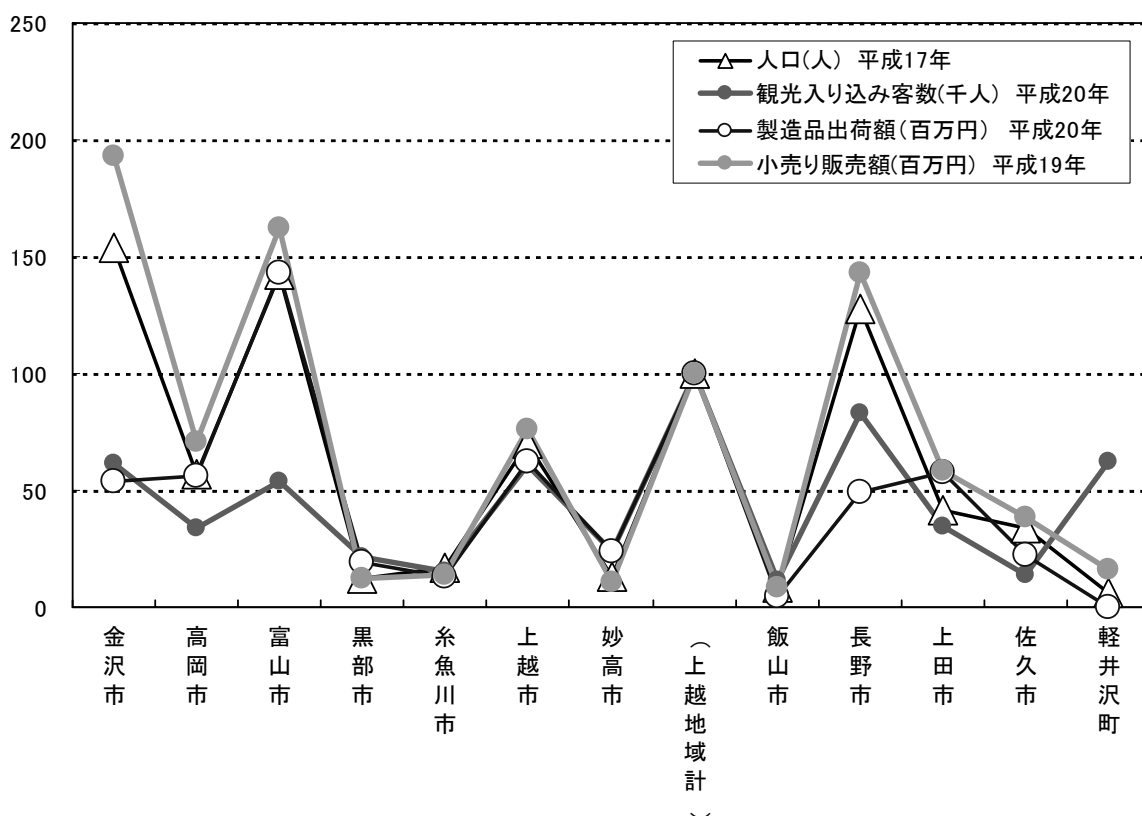
さらに、上越地域は人口に比して、総じて面積が広く、人口密度が低いこと及び、昼夜間人口比率が低い地域であることがわかります。金沢市、富山市、長野市に比べ、上越地域全体では、通勤・通学拠点としての集積が低く、かつ、低密度な地域が広がっているため、公共交通機関を利用したり、そのサービスを提供したりする上で非効率な地域になりがちであることを示唆しています。(図⑦)

しかし、これらの分析は、例えば、各都市の後背圏の観光地入り込み客数などを反映したものではないため、必ずしも新幹線駅の集客力と対応しないものであることに留意する必要があります。特に、観光入り込み客数に関しては、地域別にみて、観光客数のカウント上の差異も大きく、より詳細な分析を要します。

		石川県	富山県				新潟県				長野県				
		金沢市	高岡市	富山市	黒部市	糸魚川市	上越市	妙高市	(上越地域計)	飯山市	長野市	上田市	佐久市	軽井沢町	
人口(人) 平成17年	※1	454,607	167,685	421,239	36,543	49,844	208,082	37,831	295,757	24,960	378,512	123,680	100,462	17,144	
面積(k㎡) 平成17年	※2	467.8	150.6	1,241.9	86.8	746.2	973.5	445.5	2,165.3	202.3	730.8	176.7	424.0	156.1	
人口密度(人/k㎡) 平成17年		971.9	1,113.7	339.2	421.2	66.8	213.7	84.9	136.6	123.4	517.9	699.8	236.9	109.9	
昼間人口(人) 平成17年		493,849	173,400	446,588	38,907	49,345	207,150	37,256	293,751	25,112	396,153	129,752	100,973	20,401	
昼夜間人口比率(%) 平成17年		108.6	103.4	106.0	106.5	99.0	99.6	98.5	99.3	100.6	104.7	104.9	100.5	119.0	
5年間で人口増減率(%) 平成12~17年	※1	▲0.4	▲2.6	0.1	0.0	▲6.0	▲1.8	▲4.7	▲2.9	▲5.5	▲0.1	▲1.3	0.4	6.0	
観光入り込み客数(千人) 平成20年	※3	7,522	4,165	6,566	2,630	1,871	7,458	2,944	12,273	1,450	10,221	4,266	1,692	7,691	
人口一人当たり 観光入り込み客数(人)		17	25	16	72	38	36	78	41	58	27	34	17	449	
製造品出荷額(百万円) 平成20年	※4	515,694	532,137	1,362,124	181,723	127,773	595,171	230,508	953,452	41,274	469,185	547,976	212,584	2,586	
小売り販売額(百万円) 平成19年	※5	605,948	222,109	510,045	39,845	43,038	238,444	32,697	314,179	27,742	448,437	183,542	120,759	50,294	

資料：※1 総務省統計局『国勢調査』平成17年
 ※2 国土交通省国土地理院『全国都道府県市区町村別面積調』平成17年
 ※3 各県『観光統計』平成20年
 ※4 経済産業省『工業統計調査』平成20年
 ※5 経済産業省『商業統計調査』平成19年

〈上越地域を100とした場合の主要社会経済指標比較〉



【図⑦】 主要社会経済指標の北陸新幹線沿線都市比較

資料2 北陸新幹線に関する経緯(年表)

年 月	経 緯
昭和45年 5月	全国新幹線鉄道整備法公布
昭和47年 6月	基本計画決定
昭和48年11月	整備計画決定及び建設の指示
昭和57年 3月	高崎・小松間環境影響評価実施のための駅・ルート概要公表
昭和57年12月	環境影響評価報告書案の公表(高崎～小松間 372 km)
昭和60年 1月	小松・芦原温泉間環境影響評価実施のための駅・ルート概要公表
昭和60年12月	高崎・小松間環境影響評価
昭和60年12月	高崎・小松間の工事実施計画認可申請
昭和61年 3月	長野、富山及び金沢の三駅において北陸新幹線駅周辺環境整備事業着手
昭和62年 2月	芦原温泉・南越間環境影響評価実施のための駅・ルート概要公表
昭和63年 8月	政府・与党申合せ(着工優先区間等を決定)
平成元年 6月	高崎・軽井沢間認可(フル規格)
平成元年 8月	高崎・軽井沢間着工(フル規格)
平成3年 8月	軽井沢・長野間認可(フル規格)
平成3年 9月	軽井沢・長野間着工(フル規格)
平成4年 7月	新高岡・金沢間環境影響評価
平成4年 8月	石動・金沢間認可申請、認可及び着工(スーパー特急方式)
平成5年 9月	糸魚川・魚津間認可申請及び認可(スーパー特急方式)
平成5年10月	糸魚川・魚津間着工(スーパー特急方式)
平成7年 4月	北陸新幹線富山駅整備調整事業認可申請及び認可
平成7年 5月	北陸新幹線富山駅整備調整事業起工
平成8年 3月	南越・敦賀間環境影響評価実施のための駅・ルート概要公表
平成8年 3月	小松・南越間の工事実施計画認可申請
平成8年12月	政府与党合意(新たな財源スキーム、新規着工区間等決定)
平成9年 5月	全国新幹線鉄道整備法改正(財源スキームの見直し)
平成9年10月	高崎・長野間開業
平成10年 1月	政府・与党整備新幹線検討委員会検討結果公表(新規着工区間の優先順位決定等)
平成10年 3月	長野・上越間認可及び着工(フル規格)
平成11年12月	与党合意(長野・南越間を十数年でフル規格で整備すること等)
平成12年12月	政府・与党申合せ(長野・富山間をフル規格で整備し、概ね12年強後の完成を目指すこと等)
平成13年 4月	上越・富山間認可(フル規格)
平成13年 5月	上越・富山間着工(フル規格)
平成14年 1月	南越・敦賀間環境影響評価手続き終了

年 月	経 緯
平成 16 年 12 月	政府与党申合せによる新たな財源スキーム(既設新幹線譲渡収入の前倒し活用等)及び着工区間の決定(富山・金沢車両基地間、福井駅部等)
平成 17 年 4 月	富山・金沢間(フル規格)、福井駅部認可
平成 17 年 6 月	富山・金沢間(フル規格)、福井駅部着工
平成 17 年 12 月	南越・敦賀間認可申請
平成 18 年 4 月	白山総合車両基地認可
平成 20 年 12 月	政府・与党ワーキンググループで合意(白山総合車両基地・福井間及び敦賀駅部の平成 21 年末までの認可等について合意)
平成 21 年 2 月	福井駅部完成
平成 21 年 12 月	整備新幹線問題検討会議等の設置
平成 21 年 12 月	整備新幹線の整備に関する基本方針等決定

資料：北陸新幹線建設促進同盟会「未来を拓く北陸新幹線オフィシャルホームページ」<<http://www.h-shinkansen.gr.jp/>>

上越市新幹線まちづくり行動計画

平成 23 年 2 月

- ◆発行 新潟県上越市
- ◆編集 上越市 総合政策部 新幹線・交通政策課
〒943-8601 新潟県上越市木田 1 丁目 1 番 3 号
TEL : 025-526-5111 FAX : 025-526-6111
URL <http://www.city.joetsu.niigata.jp/>

